

Mie University Faculty of Education

三重大学 教育学部

Guide Book 2014



2014年度
学部案内

学部長からのメッセージ	
教育学部5つの強さ	02
教育学部5つの特徴	03
課程・コース紹介	04
【01】国語教育コース	06
【02】社会科教育コース	07
【03】数学教育コース	08
【04】理科教育コース	09
【05】音楽教育コース	10
【06】美術教育コース	11
【07】保健体育コース	12
【08】技術・ものづくり教育コース	13
【09】家政教育コース	14
【10】英語教育コース	15
【11】特別支援教育コース	16
【12】幼児教育コース	17
【13】学校教育コース	18
【14】情報教育課程	19
【15】スポーツ健康科学コース	20
【16】消費生活科学コース	21
【17】人間発達科学コース	22
【18】日本語教育コース	23
教員紹介	24
進路状況	26
コース別の進路状況の例	28
Question & Answer	29
OB・OGインタビュー	30
オープンキャンパス	32
入試情報	33
アクセス	34

Message

学部長からのメッセージ

広い教養と高い専門性をもつ教育者を育てます



教育学部長・教育学研究科長
藤田 達生

教育学部は、良識ある社会性と豊かな教養を身につけ、多様化・複雑化する今日の教育的課題に対して、適切かつ柔軟に対応できる質の高い職業人の養成を教育目標としています。

本学部は、三重大学のなかでもっとも長い歴史と伝統をもちます。すなわち1820年に創設された藤堂藩の藩校・有造館に源を発し、明治時代には県立三重師範有造学校、戦後は三重大学学芸学部を経て、1966年に教育学部となって今日に至っており、戦前・戦後を通じて、一貫して三重県内を中心に幾多の有為な人材を教育界に輩出してきました。

教育学部には、教育・研究・実践の実験校として4つの附属学校園（幼稚園・小学校・

中学校・特別支援学校）と、教育工学や教育臨床に関わる附属教育実践総合センターがあり、それぞれに公開研究会をはじめとする各種研究会を通じて、新しい教育への取り組みを広く発信しています。

また、本学部隣接した諸学校園と連携協力して、学生・院生の教育実践力を高度化し支援する取り組みを進めるなど、地域に貢献する学部となるべく取り組んできました。さらには、海外の大学と連携して、語学研修や交換留学などによって教育環境を充実させ、国際社会に貢献する学部としても力強く発展しています。

MIE UNIVERSITY Faculty of Education

教育学部が育てる人物像

科学技術の進展が著しく、情報化や国際化、価値観の多様化が進む変化の激しい今日の社会にあって、教員には従来にも増して多様な資質能力が求められています。

教育学部では、人間の発達・成長に深い関心を抱き、教科・教職等に関する専門的知識と幅広い教養を身につけるとともに、教職に関する高い倫理性と優れた人間性の涵養をはかるための教育環境が用意されています。

そのような教育環境の中での学びによって、今日の多様化・複雑化する教育的課題に対する臨場的な判断力や教育実践力を身につけ、資質の高い優秀な教育者として活躍できる人材を育成します。

教育学部の5つの強さ

1 就職率が高い!

学校教育教員養成課程の平成23年3月卒業者における教員就職率は66.0%で、全国国立教員養成大学・学部44校中10位! 卒業生全体では、就職希望者の97%以上が就職しています。

2 専門教育に強い!

教科別コース制になっているため、各専門教員による質の高い指導を受けることができ、教科に関する高い専門能力を養うことができます。

3 教育実践力を高める!

1年次から学校現場に触れ、子ども理解を深め、学校教育活動を体験する教育実地研究に参加することによって、今後の教員に求められている教育実践力を身につけることができます。

4 地域との連携をはかる!

教育学部に隣接する学校園と連携して、学力向上・理科実験・体育活動・食教育等に関する教育活動を支援することを通して、学生の幅広い教育力の向上に努めています。

5 国際展開をはかる!

海外の大学と提携して、語学研修・交換留学等の機会を拡充し、国際的な視野を持つ教員の養成に努めています。

Topics

生きた教育を経験する教育実習

教育学部には、教育・研究・実践の補完施設として、4つの附属学校園（附属小・中・特別支援学校・幼稚園）と、附属教育実践総合センターがあります。

3、4年次の教育実習は、主として4つの附属学校園で行われます。教育実習は、授業への取り組み方・教師観・保護者観などの、それまでの学習成果について、再検討や反省をする貴重な体験です。そして、生きた教育の場で得られる多くの経験は、「教師になる」ということを再認識させ、勉学へのモチベーションを高める機会でもあります。

教育学部の5つの特徴

1 増加する教員の正規採用

学校教育教員養成課程の平成23年3月卒業者における教員就職率は66.0%で、全国国立教員養成大学・学部44校中10位となります。近年、本学部の教員採用率は、正規採用においても向上を続けており、平成18年度から連続して上昇傾向を示しています。また、教育学部全体としても就職に強く、平成23年3月に卒業した学生の就職希望者の97%以上の学生が就職しています。

2 教育実践力を育成するカリキュラム

教科及び教職に関する専門的科目の学習以外にも、学校現場での実地的な学習と省察を通して、実践的な教育力を身につけることが求められています。そのために、1年次の必修科目である「教育実地研究基礎」を初めとして、4年間を通じた系統的な学校現場体験及び教育実習によって、教育現場に通用する資質・能力としての教育実践力を身につけるカリキュラムが用意されています。

3 地域の学校・社会との連携

教育学部の北に隣接する一身田校区の5校園（白塚幼、栗真小、白塚小、一身田小、一身田中）及び南に隣接する橋北校区の6校園（北立誠幼、南立誠幼、北立誠小、南立誠小、西が丘小、橋北中）と連携して、各学校園の教育活動を支援するとともに、学生の教育実践力の育成をはかる取り組みが平成18年度から進められています。その活動は、学習支援・理科実験・体育活動・幼児教育支援・食教育・音楽祭など多岐にわたっていて、学部の教員養成に大きく貢献しています。

4 国際的教育環境の充実

日本語を母語としない外国人に日本語を教えるには、語学指導力だけでなく、育った文化の違いに配慮する繊細さが求められます。日本語教育コースでは、こうした総合力のある日本語指導人材の養成に努めています。また、本学部では、海外の大学と提携しての語学研修、交換留学等、国際的な視野をもつ教員養成に力を入れています。なかでも、天津師範大学とは、両大学に併せて5年間で学することにより、両方の大学の学位が取得できるというダブルディグリー制度が行われています。

5 教員免許更新講習の継続実施

平成21年度から、教員免許状更新講習が開始されています。教員養成課程を有し、三重県の教員養成とその資質の維持・向上に大きな役割と責任を有する教育学部は、その中心として積極的に貢献します。平成25年度は、6月から10月まで必修講習を8回、連絡協議会必修講習を1回、選択講習を113講座開設することとしています。



課程・コース 紹介

● 学校教育教員養成課程

多様なコース設定から教員としての将来の可能性を開きます。

教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション能力を高め、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、そして総合力を備えた教員の養成を目指します。
教員免許の取得を卒業要件としています。

- 国語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育コース
- 技術・ものづくり教育コース
- 家政教育コース
- 英語教育コース
- 特別支援教育コース
- 幼児教育コース
- 学校教育コース

● 情報教育課程

情報技術を利用して問題を解決できる能力を養います。

情報教育課程では、情報化社会における様々な問題を、系統的・数理的に分析・整理し、情報技術を利用して解決することのできる人材の養成を目的としています。情報分野における本課程の特色は、教育学部のもつ多様な教育・研究分野の教育を受けられる点にあります。

これにより、情報技術に関する専門的な知識・能力だけでなく、多彩な教養を身につけた柔軟な人材を養成する教育が提供されるとともに、将来に向けた人格形成の場を提供しています。
教員免許の取得は卒業要件ではありません。

● 生涯教育課程

めまぐるしく変化する現代社会で活躍できる人材の育成を目指します。

高齢化・情報化・国際化の動向や男女共生理念の合意等を念頭に置きつつ、地域の教育・文化・産業の中で、スポーツや健康ならびに消費生活に関連する分野において指導的立場で活躍する人材の養成を目指します。
教員免許の取得は卒業要件ではありません。

- スポーツ健康科学コース
- 消費生活科学コース

● 人間発達科学課程

さまざまな側面から人間の発達に貢献できる人材を育てます。

人間発達に大きな影響を与えていると考えられる問題や教育に関連する現代の社会的問題を的確に分析し、これらの問題に科学的に対応できる人材の養成を目的としています。
教員免許の取得は卒業要件ではありません。

- 人間発達科学コース
- 日本語教育コース

● 大学院 教育学研究科(修士課程)

より専門的な知識を学べます。

大学院教育学研究科は1専攻5教育領域によって構成されています。学校教育における高度な能力の獲得を目的として設置され、学部卒業生だけでなく多くの現職教員の方々が学んでいます。

- 教育学専攻
 - 学校教育領域
 - 特別支援教育領域
 - 人文・社会系教育領域
- 理数・生活系教育領域
- 芸術・スポーツ系教育領域

各教育領域についての詳細は27ページをご覧ください。

教育学部は、平成26年度に改組されます(申請中)。

ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の内容が変更となる可能性があります。詳細につきましては、学部ホームページをご確認ください。



国語教育コース

募集人員/前期13名

ことばを知ること、世界を知ること
子どものことばと心を育む教育を追究します



私たちは、ことばで考え、ことばで知り、ことばで感じ、ことばで発信します。国語科は、ことばを学び、ことばを探究する教科です。国語教育コースでは、教員としてそれを実現するための知見が得られます。

学びは、これまでもこれからもことばと切り離せません。幼児期から今までの学びをふりかえり、ことばが果たしてきた役割を考えましょう。あすの国語教育の扉をひらくのは、あなたです。

国語教育コースでは、国語学・国文学(近現代文学および古典文学)・国語教育学・書道について学びます。小学校一種・二種、中学校一種・二種(国語)、高等学校一種(国語)免許を得られます。必要な単位を取得すれば、幼稚園一種・学校図書館司書教諭の免許を取ることもできます。

● 国語学

(日本語の文法、語彙、表記、音声、アクセント、方言)

〈授業例〉
「教師のための文法・語彙入門」「日本語の音や方言の特徴」「元気に働く」と「元気が働く」の違いは? 「隣の客は良く柿食う客だ」等の早口ことばは、どうして言いにくいのか? 日常的な具体例を挙げつつ、言語分析の方法を身に付け、現代日本語の特徴について考察を深めます。

● 古典文学

古典文学作品を読み、その当時の人々の生活や社会の状況を合わせ考えて、作品の独創性を考察します。時代は主に平安・鎌倉時代の作品を扱います。古代・中世の日本文化を知ることは、もの見方も広がられます。

● 国語教育学

子どもと教員と教材の一期一会の切り結びが、わたしたちの学びの場です。国語科とは何をどのように学ぶ教科なのか、小学校、中学校、高校の授業を実際に見て考えます。子どもも教員も成長できる授業をめざします。

● 書道

毛筆実技では、楷書や行書などの基本的な運筆を学びます(硬筆も取り上げます)。古典臨書も行いながら、書道の歴史文化にも触れ、鑑賞力も養います。書道を通して、文字文化のおもしろさを感じ取っていきましょう。



書道の授業



小学校での授業



国語科シンポジウム



自主的な勉強会

教員の声



守田 庸一 准教授
もりた よういち
【担当科目】
国語教材研究
国語科教育法I
国語教育ゼミナール など
【専門分野】
国語教育学

みなさんは、どんな国語の授業を覚えていますか? 様々な物語や小説を読んだこと、難しい評論に出会ったこと、文法を勉強したこと、漢字の読み書きを教わったこと…。そうした授業をするために、先生には、日本語とその表現についての深く広い知識が求められます。また、先生が子どもの言語能力の発達を理解していることや、状況に応じて多様な指導方法を実践できることも大切です。国語教育コースでは、日本語にかかわる専門的な内容を学習するとともに、国語の授業のありかたを考えたり、実際の授業を参観したり行なったりすることなどを通じて、国語科を担う教員に必要な知識と力量を得られます。

学生の声



国語教育コース 4年

国語教育コースでは、より深く文章や言葉に向き合うことができます。国文学、日本語学、国語教育学、そして書道などのどの分野でもそれは変わりません。私が今まで勉強してきた強く感じるのは、国語は人と向き合う教科だということです。どんなささいな言葉でも見逃さずに向き合っていくと、その言葉の使い手である人の姿が見えてくるように思います。私は国語の授業を通して、子どもたちが他者や自分と向き合い、そして国語を面白いと思えるような手助けができる教師を目指しています。
文法や方言、近代文学や古典文学、そして漫画や詩・絵本など、学びの幅が広いことも国語教育コースの魅力の一つです。

将来のフィールド

卒業生の多くが、三重県・愛知県・名古屋市などの小学校・中学校・高校の教員として活躍しています。また、公務員を目指したり企業に勤めたりする人や、大学院に進学してさらに学びを深める人もいます。

社会科教育コース

募集人員/11名(前期8名、後期3名)

社会を見つめる知と技をみがき、社会科を専門とする教員として必要な「教科力」を身に付ける



社会科(地理歴史科・公民科)教育を専門とする教員に必要な能力である教科力を身に付けるため、社会諸科学を中心とした学問を専門的に研究し、教育実践にいかすために5つの専攻に所属します。

社会科教育コースには、中学・高校の頃から社会科が好きだった学生が集まっています。教員としての専門性を高めるため、学生は5つの専攻に所属し、学問を背景とした教育・研究活動に日々励むことになります。一年次は共通して社会科共通のオリエンテーション科目を、二年次から本格的に専攻を中心とする専門教育科目と社会科授業についての教科教育法を履修します。三年次は卒業論文のテーマを選定し、四年次に卒業論文の作成に取り組みます。

主免として小学校か中学校を選び、副免として主免以外の小・中・高、他教科の中・高免許などを取得することができます。具体的には、小学校教諭1種・2種、中学校教諭1種・2種(社会科・他教科)、高等学校教諭1種(地理歴史科・公民科・他教科)、幼稚園教諭1種・2種などの取得が可能です。

● 社会科学(法律学、政治学、経済学)

新聞やニュースで報道される現代社会のさまざまな問題を法律学的、政治学的、経済学的な視点から取りあげ、それらを考察する能力とそれらを教育の現場で活用する技術の習得を目指します。

● 歴史学(日本史学、東洋史学)

歴史の研究を通して、社会の成り立ち・仕組みについて学びます。日本史・東洋史の各ゼミでは、史料や最新の研究成果を読むことで、教科書記述の理解を深め、よりよい授業ができる実践力の育成を目指します。

● 地理学(人文地理学、自然地理学)

国内外の地域を対象に、人間と自然にかかわる幅広い領域について研究します。フィールドワークや様々な実験を通じ、地理学をはじめ環境・防災教育も視野に入れた地理教育の指導を行います。

● 哲学・倫理学(哲学)

哲学・倫理学の基本的な諸概念や諸問題を取り上げ、検討することを通じて、社会の諸事象を多角的な観点から捉え、批判的に分析するために必要な思考力と表現力を養います。

● 社会科教育学(地歴科教育、公民科教育)

社会科の学校現場の教育実践を意識した調査・研究を行います。ゼミでは教育実習の教材研究や社会科教育の理論や優れた実践研究を取り上げ、教員と学生で分析・検討します。



プレゼンテーション力を育成する授業



ゼミ卒業発表会



ゼミ研修旅行(くじらの博物館)



社会科教職セミナー

教員の声



永田 成文 教授
ながた しげふみ
【担当科目】
社会教材研究
社会科教育法I
地歴科教育法 など
【専門分野】
地理教育
異文化理解教育

社会科教育コースでは、自然科学・社会科学・人文科学の幅広い学問を専門とする教員がそろっています。学生は興味・関心に応じたゼミを選択することができます。各ゼミで学問を探究し、社会科共通の教科専門科目や教科教育科目の講義・演習の履修を通して、社会科教員として必要な幅広い教養と授業実践力を身に付けることができます。毎年4月の新歓合宿では、1年から4年生の学部生、大学院生、教員が全員参加して親睦を深めています。
新たな基礎科目を設定し、社会科教育独自の教員採用に向けたセミナーの開催など就職支援に力を入れています。社会科教育コースで社会を見つめる知と技を一緒にみがきましょう。

学生の声



社会科教育コース 3年

社会科教育コースには、社会科教育ゼミ、地理学ゼミ、法律・政治学ゼミ、哲学倫理学ゼミ、日本史ゼミ、東洋史ゼミ、経済学ゼミ、政治学ゼミがあります。各ゼミとも、素晴らしい教員の方の指導により質の高い教育を受けることができます。また、コース全体で参加する新歓合宿や勉強会など他学年・他ゼミとの交流も多く、学生同士で日々学び合い、お互いを高め合っています。また、各ゼミの史跡や博物館などを巡る研修旅行ばかりでなく、学生で声を掛け合っ旅行に行ったりもしています。
「教員」という夢を抱いている仲間と共に過ごすことで、自分自身も良い刺激を受け、充実した大学生活を送っています。

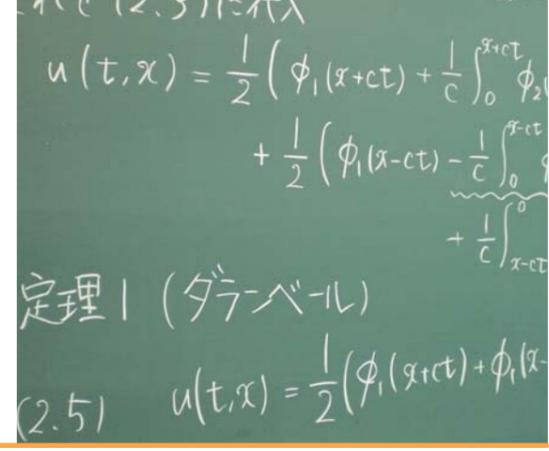
将来のフィールド

教員志望が最も多いです。社会科で学んだことをいかして公務員や一般企業で働く人もいます。

数学教育コース

募集人員/16名(前期11名、後期5名)

明るく元気に、そして楽しく数学を勉強したい
教員志望の人に向いているコースです



4年間をかけて数学を系統的に学びます。

また近隣の小中学校で児童や生徒とふれあったり、現職の先生のお話を聴いたりして、教師としての実践的な指導方法も学びます。

少人数ならではの縦と横のつながりが強く、にぎやかな雰囲気の特徴のコースです。成績評価の厳しい先生が多く、試験前に学生は猛勉強をします。宿題の量も多いですが、分からない問題があってもみんなんで助け合い、先生も親切に面倒を見てくれますから、数学の実力を伸ばせます。

ここで数学を勉強しませんか。教員採用試験の合格率も良好です。

● 代数学

方程式の話は高校までで終了、ではない。これは終わりのない物語です。この物語を読み解く過程で「群」や「ベクトル空間」などの重要性がわかってきました。こういうものも含めて方程式とその周辺を研究するのが代数という分野です。

● 解析学

自然現象を科学的に理解しようとしたとき、高度な微分積分の知識が必要となります。このため、微分積分学を多変数に拡張したもの、変数の範囲を複素数に広げたもの、より一般的な関数も扱える積分論などを学生が学んでいます。

● 幾何学

幾何というと皆さんは直線、図形、三角形、丸、楕円などを思い浮かべるのではないのでしょうか。黒板の上では、私たちが普通に考えるものですね。では、地球上、つまり曲った面の上での直線、三角形、丸とは何なのでしょう。一緒に考えてみませんか。

● 応用数学

確率論・統計学では、高校で学んだ確率の考え方を深化させた公理的確率論と、その応用であるデータ解析・数理統計学を学びます。コンピュータ科目では、プログラミングの基礎から応用まで学び、論理的思考力や問題解決力を高めます。

● 数学教育学

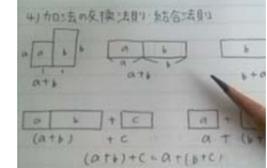
学校現場における算数・数学教育の現状と課題を見つめ、教材の開発や指導原理の考察、指導事例の検討、評価のあり方など、算数・数学教育の「目的・内容・方法」を理論的・実践的に探究します。



さあ、一緒に楽しもう! 教師になろう!



ゼミで発表中。真剣です。



「数学科教育法」のノートです。



教師を目指す皆さんの入学を待っています。

教員の声

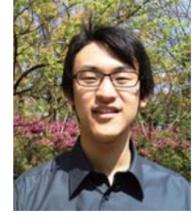


露峰 茂明 教授
つゆみね しげあき
【担当科目】
代数学概論 など
【専門分野】
代数多様体、特にモジュラー
パラエティの研究

小学校・中学校・高等学校で、算数あるいは数学を教える教師を目指す学生達のためのコースです。代数、幾何、解析、応用数学、数学教育の専門家がスタッフとしてそろっていて、それぞれの分野での勉強や実習等をサポートします。大学の数学の勉強は正直言って簡単ではない所もあると思います。粘り強さが求められます。

教員採用試験の合格率はよいと言っていると思います。「私達が努力して合格率をよくしているのに、先生がそれを鼻にかけるのは変だ」と言っていた学生(教員採用試験合格者)がいました。こういう本音はアリのコースです。数学自体が本音だけの学問でもありません。

学生の声



数学教育コース 3年

数学教育コースは、縦のつながりも横のつながりも強いコースです。4月には新入生歓迎の合宿、夏休みにはキャンプ、冬休みにはスキー・スノーボード等、様々な企画を行なっています。先生も学生も個性的で、楽しい学生生活を送れることは間違いなしですよ。

そんな「数教」への仲間入りを果たすために、私からアドバイスがあります。それは「数Ⅲ・数Cをやれ!」です。数Ⅲ・数Cで学ぶことは、大学の数学と非常に密接なかかわりを持っているのです。そのときに身に付けた知識が役に立つ日は必ず来ます。

さあ、私たちと共に数学を楽しもうではありませんか。

将来のフィールド

最近3年間の卒業生48名のうち、25名が公立学校教員採用試験に合格(小6、中18、高1)。また地方公共団体職員2名、三重大学大学院進学9名などです。再び教員採用試験を受験して合格した卒業生も大勢います。

理科教育コース

募集人員/16名(推薦3名、前期13名)

日本と子どもの未来を拓く理科教師になる4年間



理科の知識、技能、および指導力が高く、教材教具に関する高い研究開発力を持ち、教育現場で児童・生徒および教員にとって必要な理科教育の課題を的確に把握するための洞察力をもった教員の養成を目指しています。

小・中・高等学校における理科教育の方法や、その背景となる科学知識の習得のために、理科教育コースには、下記の5分野・9研究室があります。理科教育コースの学生は2年次からどれか一つの研究室に所属し、各分野の専門知識の習得と同時に学校教員になるための教育技能を身につけます。本コースでは教育実習以外にも、県内の小学生向けの科学教室や科学の祭典などの豊富な教育実践の機会があります。学生はこのような催しに数多く参加し、子どもたちに理科の面白さを伝える技能を積極的に磨いています。

本コースでは小学校一種・二種、中学校(理科)一種・二種、高等学校(理科)一種免許を得られます。必要な単位を取得すれば、幼稚園一種免許なども取ることもできます。

● 物理学

力学、電磁気学の初歩を学んだ後、熱力学、振動・波動、現代物理学等の分野を講義と実験を通して学修します。卒業研究では、物理教材の研究、物質の性質やカオス等に関する実験やコンピュータシミュレーションを行います。

● 化学

物質の性質を理解するための基礎理論から有機・無機物質の性質までを、講義・実験・演習を通して体系的に学修します。また、実験では基本的な操作法や安全に実験をする方法の習得にも力を入れています。

● 生物学

分子レベルから地球の生物群集のレベルまでの基礎的知識と理解のために、講義・実験・演習・卒業研究を体系的に学修します。また、身近な動植物を扱った観察・飼育・栽培・調査や、教材開発にも力を入れています。

● 地学

宇宙科学、地質学・古生物学等の地学の諸分野を中心に高校で地学を履修していないことを念頭に、講義・実験・演習を通して体系的に学修します。野外実習(天体観測や地層観察・化石採取)にも力を入れています。

● 理科教育

理科をどう伝えるか、つまり、理科の授業を中心に据えた分野です。理科の目的、科学の本質、子どもの自然認識といった基礎的な内容をふまえた上で、理科授業の展開のしかた、教材の位置づけ方、評価のしかた等、具体的な授業場面にについて検討します。



地層の観察(地学実習)



電気エネルギーの実験(子ども科学教室)



研究発表(三重大アカデミックフェア)



音による振動実験(科学の祭典)

教員の声



新居 淳二 教授
にいじゅんじ
【担当授業】
化学講義
理科実験(化学)
化学実験 など
【専門分野】
無機化学

身近で起る様々な事象への疑問に答えてくれるのが理科です。しかし、残念ながら学校で学習したことと身の回りの事象との関連に気付かないことが多いのではないのでしょうか。日常のありふれたこと、例えば「ガスコンロでなぜお湯が沸くのか」という疑問を追求していくと、この現象が理科のあらゆる分野と関係していることがわかります。このようなことを気付かせてくれるのが、好奇心、観察力、探求力です。理科教育コースはそのような力を養う場を提供します。皆さんも是非、理科教育コースで疑問が解決したときの喜びを味わい、さらに同じ喜びを子どもたちに伝えることのできる教師を目指して下さい。

学生の声



理科教育コース 3年

理科教育コースの授業では、「何故、空は青いのか」といった身近なことから各分野の専門的なことまで幅広く学ぶことができます。また、今まで身に付けた知識を実際に実験を行い確かめることができます。

毎年、『フレンドシップ』という小学生対象に理科の授業を行うイベントがあります。私はアリの行動実験や飼育キットなどの教材開発を仲間と行い、子どもたちの前で授業を実践しました。私はこのイベントから子どもたちに興味を持ってもらえる教材開発の難しさを学んだとともに、アリという生き物のおもしろさや授業を実践する楽しさを味わえました。

理科のおもしろさに触れ、一緒に理科に強い教員を目指しましょう。

将来のフィールド

最近3年間の卒業生51名のうち、31名が教員(小学校6名、中学校23名、高校1名、私立学校1名)となり、10名が大学院に進学しています。公務員や企業に就職する人もいます。

音楽教育コース

募集人員/9名(前期5名、後期3名)

音楽の本当の面白さを子ども達に伝えることのできる教師になるために



深く広い専門的知識と、理性に根ざした豊かな感性、そして科学的視点を重視した質の高い指導技術を備えた教員の養成を目指しています。また、生涯学習を支援できる柔軟な思考・行動力のある人材の育成を図ります。

ピアノをはじめとする器楽の演奏法、声楽における発声及び歌唱法、それらを基盤とした合奏・合唱及び指揮法と、音楽理論とその発展にある作曲法を体系的に修めることによって、音楽の実技系各分野における専門性を高めます。

また、日本音楽の歴史や演奏法、音楽史などを学ぶことにより、様々な価値観や美学に触れ、個性的で柔軟な発想を育みます。さらに、音楽教育学と、理論に基づく音楽療法の複合的実践等の学習を通して、実践的な指導力を身につけます。

小学校1種免許状、中学校1種免許状(音楽)、高校1種免許状(音楽)を取得することができます。努力次第では、他校種・他教科の免許状の取得も可能です。

● 音楽教育学

教育に関する理論を基盤として、教育課程の構造、授業の構成、教材に関する解釈等について学びます。また、音楽の各分野に関する基礎的知識および技能に基づき、総合的な実践力を身につけます。応用分野として、音楽を介したコミュニケーション(音楽療法)についても学びます。

● 作曲・音楽理論

音楽を指導する立場にある者は、音楽の構造・成り立ちについて知っていなければなりません。作品に接するにあたり、どのように考えたらよいかを基本から取り組むために、「和声法」「作曲法」等の授業があります。

● 器楽

ピアノに触れることで音楽と親しみ、西洋音楽のバロックから近・現代までの作品の演奏研究を行うとともに、音楽を指導するスキルを身に付けます。また、演奏表現することの喜びを通して、互いに持てる力を育て、これからの音楽教育に求められるものについて、ともに学びます。

● 声楽

基礎発声として裏声と表声の分離・強化と融合および発音との協調運動による声の作りの理論と実践を、そして段階に合わせた様々な歌曲や教科書に掲載されている歌などを、原則グループ形式の授業で学生相互が学び合います。



ソルフェージュ



日本音楽演習



合奏法



コラボ音楽祭

教員の声



森川 孝太郎 准教授
もりかわ こうたろう
【担当科目】和声法1,2 作曲法1,2ほか
【専門分野】作曲・音楽理論

音楽教育コースは定員が比較的少数のコースですが、その分、学生同士はいつもお互い助け合いながら仲良く学生生活を送っています。私たち教員も学生たちとの対話の時間を大切にしています。

音楽教育コースの教員はそれぞれの専門性の高さを自負していますが、ここで学んだ学生たちが将来、その専門性を子どもたちに分かりやすく伝え、何より、音楽が人に与える感動や楽しさを子どもたちと共有できるようになるのか、教員も学生たちとともに学びあっています。

音楽棟には練習室が全部で48室あり、すべて冷暖房完備です。練習室にはグランドピアノが6台、アップライトピアノが45台置いてあります。

学生の声



音楽教育コース 3年

私たちは、1学年8~9名の少人数で仲良しな音楽科です。男子は6人と少なめですが、男女関係なくみんなで楽しく、時には真剣に音楽と向き合っています。

授業は、ピアノや声楽などの実技科目だけではなく、作曲法やソルフェージュなどの理論的な科目も学ぶことができます。そして、音楽教育についても深く学びます。先生方は、個性的でユーモアのある方々で、優しく、時には厳しく指導して下さいます。

音楽棟には、たくさんの練習室があり、授業の合間や放課後などの自分の好きな時間に練習することができます。コースの行事としてファイナルコンサートやコラボ音楽祭などがあり、コース全体で一生懸命取り組んでいます。

将来のフィールド 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭だけではなく、進学、研究員等、専門領域で研究活動を推進する卒業生もいます。また、福祉関係の職員や音楽療法士など、隣接関連領域で活躍する卒業生もいます。

美術教育コース

募集人員/前期 8名

美術の力と魅力! それを知りそれを活かす教育の途がここにあります



美術の制作と理論の追究、美術教育の実践と理論の探究、というそれぞれの力量を高め統合した専門的能力を身につけるとともに、学校や社会教育現場で求められる高度な実践力を備えた教育者を養成します。

教育学部の特色を生かして制作と理論の両方の力量を獲得できるのが特色です。1年次から絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論の各分野の専門的な制作と理論が学べます。3年次からは「副論文・卒業制作」か「副制作・卒業論文」のいずれかのコースを選択し、専門的な研究を行います。

「小学校教諭一種」または「中学校教諭(美術)一種」の教員免許を取得します。その他高校(美術)免許、学芸員資格、幼稚園・中学校教諭(他教科)は選択で取得できます。

● 絵画

デッサン、透明水彩による着色、油彩による西洋古典絵画技法、アクリルエマルジョンを用いた混合技法など様々な表現を体験し、多種多様な画材と素材に臨機応変に対応できる自由な発想力を養い、各自の表現のバリエーションを増します。

● 彫刻

個々の学生の資質に合わせた幅広い分野の立体造形の授業を行っています。実技制作と平行してスライドレクチャーを行い、表現についての知識を深め、時代や歴史的な観点をふまえたうえでの自己表現を目指しています。

● デザイン

基礎造形のうち平面及び立体の構成を中心とした課題や、CGを使った実践的なデザインワークから、デザインに必要な理論、思考法、技法、色彩学を学び、デザインとは何か、作品制作を通して考察していきます。

● 美術理論・美術史

美術教育で重視されつつある「鑑賞」という視点から、美術の理念・概念・歴史などを学修します。それによって、美術を生み出すものが、単に感性ではなく、様式の変化や時代精神、民族性、あるいは個人の才能などさまざまな要因によることを学びます。

● 美術教育

美術教育のありようには決まった答えはありません。それは、子どもと教師が共に創造していくのです。この高度な実践的指導力を、講義や演習による理論研究と、実地や実習による実践研究との結合により獲得していきます。



絵画の授業から



授業風景:デザイン



彫刻室風景



授業風景:美術理論・美術史

教員の声



山田 康彦 教授
やまだ やすひこ
【担当科目】図工教材研究 美術科教育法 美術教育演習
【専門分野】美術・芸術教育学

美術と美術教育をアクティブにそして深く学ぶプログラムが各学年に用意されていることがコースの特色です。1年次は美術館での子ども活動の企画・実施、2年次は美術展の企画・運営、3年次は制作または理論による副研究、4年次は卒業研究と卒展開催と、美術・美術教育の実践力と理論を集中的に発揮する経験を重ね、学生はたくましく育っていきます。それを支えるのが、1年次から始まる美術各分野(絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史・美術理論)の専門的な学習と、教科教育法の授業や学校での教育実習等の美術教育の学びであることは言うまでもありません。学生と教員の懇切な関係も魅力の一つです。

学生の声



美術教育コース 3年

美術教育コースでは、「美術を教えるって何だろう?」という疑問を実技や美術理論を通して考えることを大切にしています。

4年間の教育課程の中で、県立美術館でのワークショップや展覧会の企画運営、教育実習などの様々な体験の際に「美術を教えるって何だろう?」と考える機会が沢山あります。その経験の中で悩むことも困ることもあります。そうゆうピンチの時には、相談できる同期の仲間や頼りになる先生、先輩がいます。

美術教育コースで学年や立場を超えて「美術を教えるって何だろう?」ということと一緒に学びましょう。

将来のフィールド 小学校および中学校(美術)の教員になる卒業生が多い。その他、大学院等に進学、企業特にデザイン関係に就職していきます。平成24年3月卒業生では、5名が教員になりました(小学校・中学校・高校の正規教員が各1名、講師が2名)。

保健体育コース

募集人員 / 11名 (前期7名、後期4名)

健康で運動好きな子どもを育てるために、保健体育に関する様々な分野の学習をします



運動の楽しさや面白さ、精一杯体を動かすことの気持ちよさを味わえる、健康や体に関する正しい知識と実践力を持つ子ども。本コースではそのような児童、生徒を育てる教員の養成を目指しています。

本コースでは保健体育に関する専門的な知識と実能力を基礎として、高い授業実践力を養うための学習をします。専門的な知識を高める学問分野には保健体育科教育学、体育・スポーツ学、運動学、学校保健の各分野があります。取得可能な免許は小学校教諭、中学校教諭(保健体育)、高等学校教諭(保健体育)等です。また、(公)日本体育協会公認スポーツ指導者養成制度の資格取得に必要な講習および試験の一部(共通科目I+II)が免除されます。

● 保健体育科教育学分野

学校教育における体育・保健体育の授業をどのようにデザインし、展開していくかということについて学びます。授業観察や模擬授業を通して保健体育科教育の目的、内容、方法を学び、体育担当教員としての専門的資質と実践的指導力を培っていきます。

● 運動学分野

体や運動を科学する方法について学びます。体の機能や仕組みを理解し、様々な身体運動により体がどのように変化するか、スポーツの技術を習得する方法や指導法、運動のメカニズムを解明する方法や、各種スポーツの基礎となる多様なトレーニングの科学的な方法等について学びます。

● 体育・スポーツ学分野

体育やスポーツについて心理・社会・歴史・哲学などの視点から追求していきます。例えば実力を発揮する方法、人間関係や集団・組織のマネジメントのあり方や指導・支援方法、スポーツ振興政策の仕組みや現状、体育やスポーツとは何か、体育やスポーツの変遷等について紐解きます。

● 学校保健分野

子どもから高齢者までを対象にした健康づくりを学びます。例えば児童の運動量が減少している問題を理解し、保健教育について学びます。成人の生活習慣病と運動の関連性を理解し、疾病予防について考えます。高齢者の体力低下問題に対する国や自治体の対策について知識を得ます。



学校現場の体育教師との「ラート運動」実技研修会



野外運動Ⅲ(臨海実習)の授業 -古里海岸でカヤックの実習-



授業研究会への参加 -グループディスカッションの発表-



体育実技「器械運動」の授業で倒立の練習

教員の声



後藤 洋子 教授
ことうようこ
【担当科目】
体操
ダンス
小学校専門体育 など
【専門分野】
体操の指導方法論

本コースの新入生は毎年、中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す人が多数を占めています。しかし実際には小学校の教員になる人が多いようです。小学生と触れ合う機会が多いからかも知れません。体育の専門性を持った小学校の教員は子どもの体力、運動能力の向上という観点からも好ましいことだと思います。また、中学、高校の体育教員を目指す場合、保健体育の専門家として良い授業ができることが不可欠です。どの校種の教員を目指すにしても、様々な授業、実習、実践を通して専門的な理論に裏付けられた実技力、実践力を養いましょう。更に高度な専門性を身につけるために大学院に進学する人も少なくありません。

学生の声



保健体育コース 4年

保健体育コースの特徴は明るく元気なところです。学年を超えて仲が良く、スポーツイベントや授業などで一緒に活動することも多いので、学内に仲間がたくさんいて毎日楽しい日々を過ごしています。実技の授業では、改めて運動を基礎から学ぶことができます。また、運動方法学や体育心理学といった授業では、運動を構造面から理解したり心理的な側面から学びます。保健体育科教育学の授業では運動の面白さがどこにあるのかについて、同じコースの仲間と真剣に意見をぶつけ合いながら体育について考えています。さまざまな体験することで運動・スポーツに生涯を通じて関わる能力を身につけることができます。

将来のフィールド

三重県や近隣の公立小、中学校(講師を含む)の教員となる人が多数を占めますが、企業に就職したり警察官や消防士になる人や大学院に進学する人もいます。また近年、本学職員として採用される人も見られます。

*現名称: 技術教育コース。中学校技術・家庭科技術分野、高校工業の教員だけでなく、ものづくりに長けた小学校教員養成を行うコースとして平成26年度入学生よりコース名が変わります。

技術・ものづくり教育コース

募集人員 / 8名 (推薦2名・前期6名)

ものづくりの楽しさと、技術の素晴らしさを伝えることのできる教師を目指して



将来、技術立国日本を支える子どもたちに、ものづくりの楽しさと、技術の素晴らしさを伝えることのできる教師を目指し、技術教育を支える学問の理論と技能を総合的に学習します。

技術教育は、技術立国日本を支えるだけでなく、子どもたちの工夫創造の能力や実践的態度の育成など、人間形成の上でも大きな役割を果たしています。小学校におけるものづくりを含め、このような技術教育について学ぶのが技術・ものづくり教育コースです。本コースでは2年次より技術教育、電気工学、機械工学の3つの研究室のいずれかに所属して専門性を高めます。

生活に密着する科学としての技術科教育を、その理論・実践両面からのアプローチを通して深めていくとともに、それを支える材料加工、機械、電気、生物育成、情報に関する専門的な教育・研究を探究していきます。

● 技術科教育法

「技術」や「ものづくり」を対象とした教育における、教材や学習指導法、教授技術について実践的に学修します。

● 材料と加工

木材、金属、プラスチックと、目的により使用する材料も、加工法も異なります。また、材料の再資源化や廃棄物の発生抑制など、自然環境の保全等にも関係しています。このような材料と加工に関する技術について学修します。

● 機械

我々の身の回りにある工業製品全ての設計・製造・稼働・メンテナンスに関わる事項、またそれに必要となる基礎理論と応用技術について学修します。

● 電気

電気回路、電磁気の基礎をまず押さえた上で、講義と実験実習を通じて発電から最終的な利用までのエネルギー変換、身近なものから様々な産業で工夫・応用されている電気に関わる事項について学修します。

● 生物育成

食料、バイオエタノールなどの燃料、木材の生産、花壇や緑地等の生活環境の整備など、生物育成が多くの役割をもつことについて実習を通じて学びます。

● 情報

情報に関する技術の進歩が、社会生活や家庭生活を大きく変化させ、多くの産業を支えています。このような内容を指導できるよう、理論と実践を通じて学修します。



幼稚園での製作活動支援



幼稚園での釘打ちの指導



地域でのロボット操作体験教室



科学の祭典におけるロボット教室

教員の声



中西 康雅 准教授
なかにし やすまさ
【担当科目】
金属加工学概論
木質材料学
機械工学実験実習など
【専門分野】
材料工学
機械力学
技術科教育

皆さんの中には、中学校の技術の授業で「本立て」や「ラジオ」、なかには「ロボット」を製作したという方もいるのではないのでしょうか。技術・ものづくり教育コースでは、中学校の技術の授業で取り扱った木製品や電気製品の製作だけではなく、電気・機械工学や情報・栽培学の基礎を学ぶとともに、先端の研究に触れることで、教科の専門性を磨きます。また、学校や教育周辺領域の現場に身を置きながら教科教育法の理論と実際についても学びます。子どもたちに「ものづくり」という行為を通じて、社会生活や家庭生活などにおいて、技術がどのように活用され、どのような影響を及ぼしているのかを評価し、よりよい生活を生み出すための工夫・創造する態度と能力の基礎を身につけさせられるよう学ぶのが、技術・ものづくり教育コースです。

学生の声



技術教育コース 4年

私の所属する技術・ものづくり教育コースでは、技術教育に関する実践的な活動はもちろん、企業と連携した製品開発や、近隣の学校と連携して電池カーを開発したり、新しいものをつくる研究にも精通していて自分のやりたいことに集中して参加することができ、日々自分自身で成長が実感できるコースです。また、コース内の学生同士の結びつきも強く、先輩後輩関係なく、さまざまな行事も行っています。授業に関しても教育的分野から他のコースにはない工学的分野まで幅広い分野の授業が数多く準備されています。理系の授業はちょっとという人でも先生方がわかるまで丁寧に楽しく教えてくださいたいです。中学の技術ってなにをした?とこの文を読んで思ったあなた!もう興味があるのでいる証拠です。ぜひ技術・ものづくり教育コースと一緒に学びましょう。

将来のフィールド

進学(本学大学院、他大学大学院、他研究科)、教員(幼稚園、小学校、中学校技術、高等学校工業、特別支援学校、工業高等専門学校、大学)、公務員、企業

家政教育コース

募集人員/前期8名

広い視野から人間の生活と環境を
探求できる教員になるために



家政教育コースでは、人間形成にとって必要な生活の問題を、日々の家庭生活や地域生活に着目して、広範な視点と分野から、理論的・実践的に研究しつつ、それらを家庭科に生かし、新しい時代を担う家庭科教員になることをめざして学びます。

家政教育コースは、家庭科教育、家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学の6つの領域からなり、文系・理系どちらの分野の科目も必要なコースです。取得できる免許は小学校教員免許、中学校および高等学校の家庭科教員免許です。そのほかにも、希望すれば学芸員や司書教諭等の資格も取れます。現在は1学年8名定員で、4学年で30名程度の学生がいます。大学院生は数名です。教員は専門領域に分かれて7名います。

● 家庭科教育

家庭科教育の理論と専門領域の知識を統合し、よりよい授業実践ができる力を育成します。主な授業科目は、家庭科教育法・家庭教材研究です。

● 家庭経営学

システムとしての生活が安定するための知識を学び、豊かで創造的な生活について考えます。おもな授業科目は、生活経営論・家庭経済論・家族関係論・家政学原論・消費者教育論です。

● 被服学

衣生活に関する知識(デザイン・素材・設計・管理・衛生など)を学び、実生活に役立つ教育へ導くことを考えます。主な授業科目は、被服学概論・被服構成学・被服実習・衣生活科学・被服学実験です。

● 食物学

栄養・食品・調理に関する知識を学び、豊かな食生活について考えます。主な授業科目は、栄養学概論・食品学・調理科学・食生活論・調理実習・食物学実験です。

● 住居学

住空間・住生活に関する知識を学び、豊かな住生活について考えます。主な授業科目は、住居学概論・住生活環境論・住生活論・住居学演習・住居学実習です。

● 保育学

子どもに対する基本的な理解と関わり方を学び、家庭や社会における子育てについて考えます。主な授業科目は、保育学・家庭看護学です。



フレンドシップ：子どものまちの様子



被服構成学の授業の様子



食物学実験の授業の様子



教員の声



増田 智恵 教授
ますだともえ
【担当科目】
被服学概論
被服構成学
被服実習
【専門分野】
被服学
(被服設計とデザイン心理)

上述の家政学の多くの科目を専門教員が少数学生に丁寧に指導していることが、他大学には少ない本コースの大きな魅力です。そのため家政教育の特徴である幅広い視点から生活を捉え、実践できる知識と実力を身につけるためのカリキュラムが理解しやすいように段階的に設定され、各教員が様々な工夫をこらして教育指導(学外へのリサーチ体験、親子および子供達との様々な実習、パソコンでの衣服デザインなど)を行っています。同時に少数の担任体制も非常に安心できる環境です。そして最もアピールできる点は、学年を超えて大学院生も含め全学生が仲良く、様々な面でコミュニケーションがとれていることです!

学生の声



家政教育コース 4年

家政教育コースは、比較的少人数で私たちの学年は8人ですが、みんなで協力し、助け合うことが多く、授業もお昼休みも休み中の旅行も8人がいつも一緒です。印象に残っている授業の調理実習では、本格的な日本料理や西洋料理に挑戦し、調理技術や知識を習得すると同時に食べることを楽しみで真剣に取り組みました。教育学部の授業や家政の専門の授業は、将来家庭科教諭や小学校教諭を目指す私たちに役立つものばかりです。また、家庭科は私たちの日常生活に深く関わっている教科であるので、学ぶ中で、大学生として自分の生活を見直し、よりよく出来ることも家政教育コースの魅力です。

将来のフィールド

卒業後はほとんどの学生が小学校や中学校家庭科の教員となりますが、大学院へ進学する学生や公務員または一般企業へ就職する学生もいます。大学院への進学は本学の大学院教育学研究科をお勧めします。

英語教育コース

募集人員/前期15名

国際化にふさわしい資質と能力を持った
英語教員を養成するコースです



英語教育コースでは、英語の実践的能力を身につけるとともに、英語の歴史的・社会的背景、英米の文学や文化、英語教育法を総合的に学び、確かな英語力、言語感覚、国際感覚の習得を目的としています。

英語教育コースのカリキュラムは英語学・英米文学・英語教育・異文化理解・英語コミュニケーションの分野からなっており、さまざまな側面から英語に親しんでいきます。

英語コミュニケーションの分野では英語会話や英作文など実用英語のスキルを習得し、英語学、英米文学、英語教育、異文化理解などの専門分野では、講義と演習を通して英語教員に求められる専門的知識を身につけていきます。インターネットを用いて米国の大学との遠隔授業も行なっています。

● 英語学

英語学の分野では、英語の仕組みや働きを実例の観察・分析を通して多角的に研究し、その成果を中学校・高等学校における指導に活かすことをめざします。また、英語が実際に使われている状況、英語が今日「国際共通語」と呼ばれるに至った経緯などを、さまざまな文献資料を通して学んでいきます。

● 英米文学

英米文学の分野では、英米の有名な詩や小説や劇などの文学作品を原書で読み、英米文学を体験します。具体的な作品読解を通して英米文学に親しむだけでなく、その背景となっている英米の文化や世界観にも触れ、同時に文学テクニクの分析方法についても理解を深めます。

● 英語教育

英語教育の分野では、言語習得理論から小学校の外国語活動や中学校・高校における具体的な英語指導法まで、英語教育全般にかかわる事項を学びます。また、教案作成・模擬授業や学校訪問を通して授業実践力も育みます。

● 異文化理解

異文化理解の分野では、異文化コミュニケーション全般の基礎知識を習得すると共に、英語を中心とする言語表現、言語行動の背後にある英米文化における考え方、信念、理念、価値観を学び、コミュニケーション上の異文化理解を深めます。



授業風景



PC語学演習室での授業



米国の大学との遠隔授業



学生控え室で留学生とともに

教員の声



荒尾 浩子 准教授
あらいひろこ
【担当科目】
英語教育
異文化理解
【専門分野】
比較文化
動機付け論

英語が好きで、英語力を高めたい、英語という言語や英米文化に関心があり、英語の諸相について深く学びたいという意欲のある人をお待ちしています。将来、英語の世界の魅力、英語を学ぶ楽しさや意義を、身を持って児童、生徒に伝えていけるような先生を目指しませんか。英語教育コースでは英語学、英米文学の専門知識に基づき英語を科学や芸術として扱える力を培い、異文化理解を深めます。さらには言語習得の知識に裏打ちされた英語教育法を学びます。豊かな英語の世界観を持った先生がたくさん巣立っていただけることを願っています。

学生の声



英語教育コース 4年

英語教育コースでは、英語に関する基礎的な知識から専門的な知識まで、授業を通して学ぶことができます。1年次・2年次では、英語の4つの能力(話す・聞く・読む・書く)を文学・英語学・英語教育の授業を通して向上させます。3年次・4年次では、英語の専門的な知識を身につけ、自分の研究する分野を絞っていきます。学生の人数は1学年約15人と少人数で、仲間との深い関係も築くことができます。さらに、1年の中には私たち学生が企画する様々なイベントがあり、同年代だけでなく他学年とも非常に良い関係を築けます。学生の英語に対する意識も高く、みんなで切磋琢磨して学んでいこうという環境の中で自分を磨くことができます。

将来のフィールド

卒業生の多くは三重県内および他府県の小学校・中学校・高校の教員になっていきますが、最近では企業に就職したり、大学院に進学する卒業生もいます。

特別支援教育コース

募集人員/12名(前期8名、後期4名)

基礎免許(小学校など)と、特別支援教育の免許状、両方の取得を目指すコースです



子ども一人ひとりの特別な教育的ニーズ(発達の遅れ、他者とのかかわりの苦手さ、学習のつまずき、身体の動きの制約、疾患による制約や後遺症の影響など)に目を向け、適切な支援ができる教員等を育成するコースです。

2007年から、全ての教育機関(幼稚園、小学校、中学校、高等学校等)において特別支援教育を実施することとなりました。特別支援学校のみならず、地域の学校にも特別な教育的ニーズを有する子どもが多く在籍しています。現在、ほとんどの学校園には「特別支援教育コーディネーター」という役割の教員がいます。すべての子どもたちの教育を支える上で、特別支援教育は欠かすことのできない基盤であり、そのプロフェッショナルとして現場で活躍できる教員を育成しているのが当コースです。

◎免許状について

特別支援教育コースでは、必ず2つの免許状を取得します。1つ目は、小学校一種(または二種)免許状、もしくは、中学校・高等学校教諭一種(または二種)免許状です。2つ目は、特別支援教育一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)です。努力次第ですが、上記の免許状とあわせて、幼稚園教諭免許状の取得を目指す学生もいます。

◎教員の専門分野について

特別支援教育コースには、5名の教員がいます。教育学担当の教員が2名、医学担当の教員が1名、心理学担当の教員が2名です。免許状に対応する「知的障害」「肢体不自由」「病弱」の分野について学ぶほか、「発達障害」「重度重複障害」「視覚障害」「聴覚障害」などについても学びます。5名の教員で複数の分野をカバーしています。その分、学生と教員が接する機会が多いのが当コースの特徴です。

卒業生(在学時)の声

- 小学校の先生を目指しています。特別支援教育コースでは、基礎免許(私の場合は小学校)と特別支援学校の3領域(知的障害・肢体不自由・病弱)の免許を取得します。もちろん、教員採用試験で有利ということもありますが、小学校にはいろいろな子どもたちがいるので、特別支援教育を学んでおくことはとても大事なことだと思います。
- 身近な存在として、障害のある人と暮らしていたため、特別支援教育を志しました。大学の勉強だけではなく、サークル活動、アルバイト、ボランティアなどを通して、視野が広がりました。教育実習の後には、地域や企業の経済活動を通して障害のある人々を支えることの重要性にも気づきました。一般就職を目指して頑張っています。
- 特別支援学校の先生になりたいです。少人数の子どもたちと、一人ひとりを大切に、じっくりかわるということが、私には合っていると思います。コースの友達・先輩・後輩も優しい人ばかりです。先生たちも、面白かったり、優しくったり、特徴がある人ばかりです。学生のゼミ室もにぎやかで、4年間楽しく過ごせると思います。



学習の様子



ボランティア



教室の風景



ゼミの1コマ

教員の声



郷右近 歩 准教授
こうこん あゆむ
【担当科目】
特別支援教育入門 など
【専門分野】
発達神経心理学

特別支援教育は、特別な人を対象とした支援を行うわけではありません。児童生徒一人ひとりを見つめ、必要な人に、必要な支援を、必要なタイミングで行うことができる、どの学校園にも必要な先生を育成するのが、私たちのコースです。子どもたちを「集団」や「学級」として捉える視点も大切ですが、当コースでは、一人ひとりの子どもの存在を尊重できる教員の育成を目指しています。ぜひ、一緒に学びたいという学生の皆様をお待ちしています。

学生の声



特別支援教育コース 4年

高校生のみなさんにとって、「特別支援教育」という言葉は馴染みがないかもしれません。例えば、食物アレルギーのある子どもへの支援は、特別支援教育の中の「病弱教育」という領域で学びます。病気で一時的に入院した時の、学習のサポートも同じです。自分のまわりで実際に行われていることが「特別支援教育」だったと知ることが、学びの第一歩です。一人ひとりの子どもたちを支えることができる先生になりたい、という後輩に出会えることを楽しみにしています。

将来のフィールド 小学校の先生や、特別支援学校の先生を目指す学生が一般的です。幼稚園の先生や、試験を受けながら保育士を目指す学生もいます。この他に、行政や福祉の立場からの支援(公務員など)を目指す学生や、より専門性を高めてゆく(大学院への進学など)学生もいます。

幼児教育コース

募集人員/前期10名

保育者をめざす学生が、幼稚園教員として必要な高い専門的知識と技能を習得します



幼稚園教員は、人生の幕開けの時期の子どもたちが豊かに過ごして成長できるために、大きな役割を果たしています。そうした教員になるための幼児教育の実践と理論を学ぶことができます。

本コースは、幼稚園教員一種免許の取得を目的としています。1年次には、保育者に必要な幅広い教養と基礎知識を身につけます。2年次には、保育の基礎理論を学び、保育参加を通して保育技能を磨きます。3年次には、理論を踏まえた保育実践を、自らが展開することを通して専門性を高めます。4年次には、保育実践を持ち寄り、理論に今一度立ち返ることを通して専門性を深めます。さらに希望によっては、小学校一種、二種の教員免許も取得することができます。

●幼児教育学

人間の発達過程のうち、最も著しい時期が幼児期といわれています。この時期の子どもにとって望ましい教育内容や方法、環境のあり方などに、「子どもの最善の利益」の立場に立ってアプローチする領域が幼児教育学です。

●幼児心理学

心身ともに著しい成長を遂げる乳幼児期の子どもの心理的発達について学びます。こころの発達過程について知ることには、子どもの思いをより深く理解することに繋がります。

●保育内容研究

乳幼児の発達に基づいた保育内容(人間関係、言葉、表現、健康、環境)を学びます。具体的な実践や事例から知識や技能を習得するとともに、保育の指導・援助のあり方について考えを深めます。



教員の声



須永 進 教授
すなが すずむ
【担当科目】
幼児教育臨床
幼児教育方法
教育課程総論 ほか
【専門分野】
幼児教育学
子育て支援
子どもの福祉

幼児教育では、幼児教育学、保育内容、幼児心理学を中心に、子どもの幼児期に関する理論や実践等の学習を通して幼児の望ましい成長・発達について系統的に、また体系的に学ぶことを目的としています。入学後、基礎から専門科目へ、学ぶ主体である学生の学習の興味や関心にそってカリキュラムが構成され、4年間で必要とされる幼児教育に関する学習内容を履修できるようになっています。また、附属幼稚園等での見学や観察、教育実習を通して体験的理解と実践力を身につけることができます。このコースでは幼稚園教諭一種免許状のほか、必要科目の履修により小学校教諭一種または二種免許状の取得が可能です。

学生の声



幼児教育コース 4年

このコースでは、幼児の成長段階における発達過程など、基本的な知識を身につけることができます。先生方も直接現場に出た経験があるなど、実践経験のある先生ばかりなので、保育現場における子どもの姿や保育現場を取り巻く環境や問題について、とてもためになる話が聞けます。また、附属幼稚園があるので実践学習や観察をすることもでき、書籍上だけではわからない子どもの生の反応や姿が見られたり、直接触れ合うことで学んだ知識を活かしたりすることができます。4年間という長い時間があるからこそ、知識面と実践面の両方を身につけることができ、充実した大学生活を送れること間違いなしです。

将来のフィールド 平成24年を含む過去3年間の進路状況は、公立幼稚園9名(5名)、私立幼稚園3名、公立保育園13名(3名)、私立保育園1名、小学校2名、進学1名、その他、公務員、企業など4名(2名)(カコ内、講師、非常勤)です。

学校教育コース

募集人員/9名(推薦2名、前期7名)

教育学・教育心理学を通して、
学校での問題を解決できる人を育てます



学校教育現場の多側面で活躍できる能力を育成する総合的なカリキュラムがあります。教育学・教育心理学の豊富な知見を学ぶ授業とともに、それらを現場で生かすための実践的な科目が準備されています。

学校教育コースは、教科内容ではなく教科を越えた「教えること」に関わる内容を中心に学びます。そのために、教育学・教育心理学のスタッフが、教科の学習指導の根本となるような事柄(教育の哲学や社会学、教育方法、学習の動機づけ、思考力の育成など)や、いじめ・不登校・学級崩壊など学校の諸問題、そしてより大きな教育システム(教育制度、諸外国の教育など)に関わる事柄など、教育に関わる幅広い理解ができるカリキュラムを用意しています。

本コースは、小学校一種免許の取得が卒業要件となっており、必要な単位を取得すれば、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の一・二種免許の取得が可能です(中学・高校の免許については教科によって取得できない場合があります)。他に、学校図書館司書教諭や学芸員の資格の取得も可能です。

学校教育コースには、以下のような特色ある授業科目があります。

理論を学ぶ科目

● 教育社会学特殊講義

学級社会における教師・生徒関係の性質を具体的な調査事例に基づいて考えます。たとえば、先生のニックネームに込められた生徒からのメッセージを読み解きます。

● 学習心理学

記憶や動機づけなど子どもの学習場面に関する理論について、その応用も視野に入れながら学んでいきます。

実践的科目

● 学校教育実地研究

学校教育に関する様々な活動に関わることを通して、現場で生かせる力を育てます。

● 教育課程構成法

「学校の教育課程は文部科学省告示の学習指導要領に従って作る」と考えてしまわずに、子どもたちの成長発達にとって必要な教育的はたらきかけの計画をどう構成するのかを自分たちで一から考えてみる授業です。



学校教育入門セミナーの授業風景



学校教育研究演習の授業風景



学校教育実地研究



学生控室でのようす

教員の声



森脇 健夫 教授
もりわき たけお
【担当科目】
授業論
授業観察・分析法
【専門分野】
教育方法学
授業論

学校教育コースは、小学校免許を必須としていますが、多くの学生は、幼稚園や特別支援、また中学校の免許も取得します。学生の気質(かたぎ)としては、子ども好きで、子どもの発達や内面に関心を持っている人が多いですし、カリキュラムには早期から実践的な活動が取り入れられています。例えば、学校教育実地研究では、泊りがけである学校に出かけ、テーマに沿った自分たちで作った授業を行う、などの試みがなされています。学校現場に出かけ支援などの活動を行いながら、こうした活動の中で出会った問題(例えば不登校傾向にある子どもたちへの学校の支援)などを卒業研究として行う学生もいます。

学生の声



学校教育コース 3年

このコースの特徴は、教育学部の中でも「教育」そのものについてより様々な視点から迫ることができるという点です。教育哲学、教育方法学、教育社会学、学校経営学など性質の違う学問がこのコースには含まれています。そのため、より広い視野と視点を持って教育について深く考えることができます。また、このコースは人間発達科学コースの姉妹コースとなっていて、教育心理学についても学ぶことが可能です。卒業論文発表会は合同で行われ、お互いに刺激を受けながら高め合うことができます。その他の様々な行事も合同で行うので、学生どうしや先生たちとの交流の輪が広がります。

将来のフィールド

主な就職先として、三重県公立小学校、愛知県公立小学校、奈良県公立小学校、京都府公立小学校、教育・学習支援業(学習塾など)、公務員(市役所など)、一般企業などがあり、大学院に進学する者もいます。

情報教育課程

募集人員/20名(前期12名、後期8名)(改組の可能性あり)

情報科学技術の基礎と応用を学び、情報社会の
様々なシーンで活躍できる人材を目指そう!



情報教育課程では、情報分野の専門的知識・技術が修得でき、情報処理技術者として活躍できる道が開かれるだけでなく、教育機関で必要とされる情報教育に長けた教員を目指すことも可能です。

情報教育課程では、高度情報通信ネットワーク社会のニーズに応えるために、

- 情報社会を支える情報処理技術者
- 情報系の専門的知識・実践力を有する教育者の育成を目的としています。

今日の情報社会を支える情報処理技術者には、コンピュータ、情報ネットワーク、プログラミングなど、情報通信技術(Information and Communication Technology: ICT)についての知識・技能だけでなく、問題を分析するための数理的能力、さらには、仕事をする上でプロジェクト・チームや顧客と係わるためのコミュニケーション能力が必要となります。情報教育課程では、まず、ICTについての専門的・実践的教育を受けることができ、ICT分野の資格取得に有利です。加えて、それらの知識・技能を教育学部の多様な授業と有機的に組み合わせることにより、数理的能力・コミュニケーション能力を養うことができ、情報教育課程は、まさに、ICT業界が望む人材を輩出できる環境にあります。一方で、社会的ニーズから、教育機関での情報教育の必要性が高まっており、さらには、情報機器を利用した授業や学校・学級運営が教員にも求められています。実際、情報教育課程の学生さんは、教育ボランティアとして、小学校における情報教育のサポートを行っており、情報教育の実践的な教育の場に触れています。特に、高等学校では、情報の専門的授業を担当できる人材が必須です。情報教育課程は、教育学部の課程として、情報技術の専門知識と実践力を有し、教育機関で活躍できる情報系の教員の養成を目指しています。情報教育課程では、高等学校1種免許状(情報)をスムーズに取得することができます。努力次第では、他校種・他教科の免許状の取得も可能であり、情報分野の専門知識・技術を発揮して、教育現場をリードする教員として活躍することもできます(ただし、現実的には取得可能でない免許状があります)。



プログラミングの授業



小学校での情報教育支援



ゼミの様子(コンピュータ実習)



ゼミの様子(研究発表)

教員の声



山守 一徳 教授
やまもり かずのり
【担当科目】
コンピュータの基礎
【専門分野】
画像処理・ヒューマン
インターフェース

子は親の背中を見て育つと言われますが、生徒は先生を手本として学問を身に付けます。手本となる先生になるためには、誠実であることだけでなく切磋琢磨する心が必要です。情報教育課程では最先端の技術を身に付けますが、新技術は刻々と現れ、そのためにも切磋琢磨する心を育てようとしています。情報教育課程にも先生になることを目指して多くの学生が入学して来ます。中学の数学の先生になる卒業生が多い中、近年は小学校の先生になる卒業生もいます。SEになる卒業生もいます。どの道に進むにしても、ここで培った切磋琢磨する心はきっと社会のお役に立てると信じて送り出しています。

学生の声



情報教育課程 4年

この課程の魅力は、教職を目指すためのカリキュラムだけでなく、企業へ就職するためのサポートも充実しているところです。良い意味で自由な課程なので、多くのことを学びながら自分の道をしっかりと考えることができます。他課程との交流もあり、異なる将来像を持っている人に刺激を受けることで、私自身将来の幅がとて広がったように感じています。また、情報分野に関する知識や技術が全くなかった私でも、先生の指導の下、同期のメンバーと協力し合いながらプログラミングの課題に取り組むことで、情報技術に対する理解が深まり、自信がもてるようになりました。

将来のフィールド

情報教育課程を卒業した方の多くは、東海地方のIT企業を中心として、ITエンジニアとして活躍しているだけでなく、銀行などの金融系業種などにも就職しています。さらには、三重県・愛知県をはじめとする公立小学校・中学校・高校への採用実績もあります。

スポーツ健康科学コース

募集人員/8名(前期5名、後期3名)(改組の結果、廃止の可能性あり)

生涯にわたるスポーツ活動のあり方や健康・体力問題に関する様々な学習をします



健康や身体活動について、様々な角度から科学的に追求するとともに、生涯にわたる健康・体力問題の解決方法やスポーツのあり方について理論的かつ実践的に活動できる指導者の育成をめざしています。

本コースではスポーツ健康科学に関する専門的な知識と実技能力を基礎として、高い指導実践力を養うための学習をします。専門的な知識を高める学問分野には健康管理学、体育・スポーツ学、運動学、スポーツ教育学の各分野があります。取得可能な免許は小学校教諭、中学校教諭(保健体育)、高等学校教諭(保健体育)等です。また、(公)日本体育協会公認スポーツ指導者養成制度の資格取得に必要な講習および試験の一部(共通科目I+II)が免除されます。

●健康管理学分野

子どもから高齢者までを対象にした健康づくりを学びます。例えば児童の運動量が減少している問題を理解し、保健教育について学びます。成人の生活習慣病と運動の関連性を理解し、疾病予防について考えます。高齢者の体力低下問題に対する国や自治体の対策について知識を得ます。

●体育・スポーツ学分野

体育やスポーツについて心理・社会・歴史・哲学などの視点から追求していきます。例えば実力を発揮する方法、人間関係や集団・組織のマネジメントのあり方や指導・支援方法、スポーツ振興政策の仕組みや現状、体育やスポーツとは何か、体育やスポーツの変遷等について紐解きます。

●運動学分野

体や運動を科学する方法について学びます。体の機能や仕組みを理解し、様々な身体運動により体がどのように変化するか、スポーツの技術を習得する方法や指導法、運動のメカニズムを解明する方法や、各種スポーツの基礎となる多様なトレーニングの科学的な方法等について学びます。

●スポーツ教育学分野

学校教育における体育・保健体育の授業をどのようにデザインし、展開していくかということについて学びます。授業観察や模擬授業を通して保健体育科教育の目的、内容、方法を学び、体育担当教員としての専門的資質と実践的指導力を培っていきます。



新しい運動教材の開発
—ラートを使った回転運動—



スポーツ健康科学実習の授業
—野外宿泊体験に参加した子ども達に
スタッフとして活動を支援する。—



実験の授業
—自転車エルゴメータを使って、運動した
時の生体の反応を調べる。—



野外運動Ⅲ(臨海実習)の授業
—古里海岸でカヤックの実習—

教員の声



後藤 洋子 教授
ごとう ようこ
【担当科目】
体操
ダンス
身体運動表現論
【専門分野】
体操の指導方法論

本コースに入学する学生は、将来スポーツトレーナー、教員、コーチや監督など、体育や各種スポーツに関する指導者を目指す人達が多いようです。本コースは生涯教育課程に属するため、生涯学習論、体育社会学、体育心理学、スポーツ行政、スポーツ指導論、トレーニング論などの理論的な科目や、テニス、レクリエーションスポーツ、野外運動などのスポーツ実技に関する科目、および学外のスポーツ施設で指導実践を行うスポーツ健康科学実習などが必修です。また、様々なボランティア活動に携わる学生も少なくありません。これらの科目や活動を通して、高い指導、実践力を養うことができます。

学生の声



スポーツ健康科学コース 4年

スポーツ健康科学コースには、「スポーツが好き!」という人が集まってきています。同期はもちろん、学年を超えての交流もあります。先輩方は、授業のことだけでなく私生活においても良き相談相手となってくれます。また保健体育コースと一緒に行動することが多く、年に4回イベントも開催しており、たくさんの仲間ができます。授業では、テニス・バレーボール・ゴルフなどのさまざまな実技種目や、スポーツ行政、スポーツ指導論、トレーニング論、スポーツ医学など専門的な知識を高める講義があります。教員免許も取得することができるので、多くの人が教職の授業を履修し教育実習にも行っています。

将来のフィールド

三重県や近隣の公立小学校、中学校の教員となる人や大学院に進学する人の他に、企業に就職したり警察官、消防士になる人もいます。また近年、本学職員として採用される人も見られます。

消費生活科学コース

募集人員/7名(推薦2名、前期5名)(改組の結果、廃止の可能性あり)

豊かな消費生活を送るための専門的な知識と実践力を備えた指導者になるために



消費生活科学コースでは、高齢化、情報化、国際化という新しい環境の中に生きる生活者を中心に置き、地球環境問題や男女共生理念、地域の創造等を共通認識として、衣・食・住、経済、教育等の諸側面から生涯生活設計と消費生活の問題に関して、理論的、実践的に学びます。

消費生活科学コースは、消費者教育、消費経済、衣生活学、食生活学、住生活学の5つの領域からなり、文系・理系どちらの科目も必要なコースです。消費生活の現場での職業体験をする「現場実習」という授業では、自分にあった職業は何かを考えることができます。就職先を探すために非常に役立つ実習です。また、中学校および高等学校の家庭科教員免許を取得することができます。現在1学年7名定員ですので、4学年で30名程度の学生がいます。教員は専門領域に分かれて7名います。

●消費者教育

現代の消費生活の実態をふまえ、消費者の自立を促す消費者教育のあり方を考える力を身につけます。主な授業科目は、消費者教育論・消費制度論・商品実験・現場実習です。

●消費経済

消費の事象を経済の視点から読み、ならびに生活と人生を経済の側面から設計する力を身につけます。主な授業科目は、消費経済論・生活経営学概論です。

●衣生活

個性化の時代を反映した消費者の衣生活を、豊かな生涯生活に設計するための力を身につけます。主な授業科目は、衣生活学・被服学概論・被服構成学です。

●食生活

健康的で豊かな食生活を営むために食に関して科学的視点からアプローチする力を身につけます。主な授業科目は、栄養学概論・食品学・食生活論・調理科学です。

●住居学

居住者の生活やニーズに適した住空間、住生活のあり方を提案する力を身につけます。主な授業科目は、住居学概論・住生活論・住生活環境論です。



カフェ経営会議の様子



衣生活領域の講義の様子



商品実験授業の様子



消費生活科学実習での作品

将来のフィールド

卒業後は製造業やサービス業、金融・保険業など様々な方面へ就職しています。また、教員免許を取得し、小学校や中学校の教員になることもできます。さらに、大学院や専門学校等へ進学する学生もいます。

人間発達科学コース

募集人員 / 10名 (推薦3名、前期7名)

教育学・教育心理学を通して、人間の発達を
広い視野から支援できる人を育てます



人間の発達を多側面から支援できる能力を育成する総合的なカリキュラムがあります。教育学・教育心理学から人の発達に関わる知見を紹介する授業とともに、それらを現場で生かすための実践的な科目が準備されています。

人間発達科学コースは、学校教育現場に限らず幅広い現場を対象とし、広い視野から教育・人材育成に関わるよう学習を進めていきます。そのために、教育学・教育心理学のスタッフが、さまざまな教育活動や多様な現場において柱となる揺るぎない理論的内容(教育の心理学、認知心理学、社会心理学、発達心理学、および教育哲学、教育方法学、教育社会学、学校経営学など)だけでなく、個々の現場で求められる実践的な内容を用意しています。

本コースでは、教員免許取得は卒業要件ではありませんが、単位取得を工夫することにより、小学校、中学校、高等学校、幼稚園、特別支援学校の各免許状を取得することが可能です(中学・高校の免許については教科によって取得できない場合もあります)。他に、学校図書館司書教諭、学芸員、認定心理士の資格の取得も可能です(認定心理士の場合、本コースでは申請のための基礎資格が得られるのみです。正式に認定されるには、卒業後、認定心理士認定委員会に申請し、そこで認定に合格することが必要です。)

人間発達科学コースには、以下のような特色ある授業科目があります。

理論を学ぶ科目

● 教育の哲学

教育が伝達および創造の対象とみなす「価値ある教育内容」とは何か、代表的な教育思想とからめながら探ります。

● クリティカルシンキング

心理学は人間の判断や思考の特徴についても研究しています。この科目は、日常生活の中で、より論理的でかつ柔軟な思考をする方法を学びます。

実践的科目

● 人間発達科学実地研究

人間発達に関係する様々な活動に関わることを通して、現場で生かせる力を育てます。

● 教育課程の国際比較

日本の学校の教育課程は、文部科学省告示の学習指導要領の「法的拘束力」により大きな制約を受けています。他国においては、国家は学校教育課程にどのように関与しているのか?スウェーデンやニュージーランドなどの事例について、日本と比較しながら考察します。



心理統計法の授業風景



人間発達科学実地研究



行動科学基礎実験



人間発達科学研究演習の授業風景

教員の声



中西 良文 准教授
なかにし よしなみ
【担当科目】
学習心理学
心理統計法
【専門分野】
学習心理学

子どもの育ちを支える専門家として、学校教員は大切な役割を果たしますが、学校教員以外にも大切な役割を担っているたくさんの方がいます。人間発達科学コースは、そのような「学校外」で子どもの育ちを支えることに活躍できる人材の育成を目指しています。しかし、学校外で子どもの発達を支える仕事というものは、豊富にある訳ではありません。ですから、自らが活躍できるフィールドを「切り開く」タフさが必要になってきます。また、様々な専門家とも関わっていける力も必要です。明確なビジョンを持ち、積極的に現場やそこにいる人々に関わり、模索することができる学生を求めています。

学生の声



中原 滉介 さん
なかはら こうすけ
人間発達科学コース 3年
奈良学園高等学校出身

人間発達科学コースは、主に心理学に関心ある学生が多く集まっているコースです。専門的な勉強ができるのはもちろん、先生・先輩・後輩みんなの仲がよいので新入生でもすぐに馴染めます。イベントもたくさんあり、4月に新入生歓迎会、6月にソフトボール大会、7月にパーベキュー大会、12月に忘年会、2月に追いコンがあります。学校教育コースと姉妹コースのため、普段の授業やイベントなども全て一緒に行います。他にも遊びや旅行の誘いがたくさんあるので、とても充実した楽しい四年間になると思います。勉強も遊びも全て一生懸命、全力投球なコース、それが人間発達科学コースです。皆さんも是非このコースに入ってきて下さい。

将来のフィールド

主な就職先として、公務員(児童相談所・児童福祉施設などの心理職)、公立学校教員、学校以外の専門的支援職員、教育・学習支援業(学習塾など)、三重県内大学職員などがあります。また大学院進学(教育・発達系の資格取得のため、研究者志望)も多数あります。

日本語教育コース

募集人員 / 前期10名

日本語教育の基礎的な知識と能力を持ち、
国際的な教育の場に携わる人材育成を目指しています



日本語学習者の持つ背景—母語や文化、年齢、学ぶ動機や目的など—は多岐に渡ります。多様化する学習者への適切な日本語教育実践のために必要とされる、基礎的な知識と能力を身に付けます。

本コースのカリキュラムは、主に次の3つの分野から成り立っています。日本語に関する分野、日本語教授法や言語習得に関する分野、異文化理解やコミュニケーションに関する分野です。

● 日本語に関する分野

適切な日本語教育をするためには、まず、日本語そのものを知ること、そして、日本語の教え方を学ぶことが不可欠です。日本語を一つの言語として客観的に見る力が求められます。私たちが日々何気なく使っている日本語を、どのような特徴を持った言語かという視点から捉え直します。

● 日本語教授法や言語習得に関する分野

語学教育の視点から、日本語教授法の理論と実践を学びます。様々な学習者に対する日本語教育に適応できるよう、日本語教授法の基礎を身につけていきます。また、本コースでは、英語や中国語などの外国語学習を推進しており、実際に外国語学習を体験することを通し、日本語を客観視する力・日本語を教える力をより深めることができます。*本コースでは、第二外国語として中国語を選択します。

なお、本コースは教員養成課程ではありません。教員免許取得に関しては、努力次第で、小学校一種・二種免許状、中学校(国語)一種・二種免許状などを取得することができます(ただし、現実的には取得可能ではない場合もあります)。

● 日本の文化・社会や異文化理解に関する分野

日本語の背景にある、日本の文化・社会・歴史などについての知識と理解を深めることにも重点を置いています。日本語教師には、日本の文化や社会についても伝えられる幅広い力も求められます。さらに、日本語教育の場では、様々な母語や文化を持った学習者が共に日本語を学んでおり、常に異文化交流が行われているとも言えます。このような状況の中で、円滑なコミュニケーションを行うことも日本語教師には必要な能力です。異文化理解、異文化コミュニケーションについても学びながら、国際的な視野も同時に身につけていくことができます。本コースは、中国人をはじめとした留学生も多く在籍しており、日々の学びの中で異文化理解を深め、語学力を伸ばすことができるのも大きな特徴です。

教員の声



林 朝子 准教授
はやし あさこ
【担当科目】
日本語教育概論
言語獲得と
コミュニケーションの発達
【専門分野】
日本語教育
書写書道

皆さんは「日本語」を意識したことがありますか。「日本語を母語としていれば、日本語は教えられる」「日本語は難しい言語」と耳にすることがありますが、本当にそうでしょうか。日本語教育コースでは、「日本語」がどのような特色を持った言語なのかを、様々な視点から捉えていきます。また、留学生(多くは中国出身)と共に学ぶ機会も多く、日常が異文化コミュニケーションの場であり、日本語の背景にある日本文化についても多くの気づきがあるでしょう。皆さんと一緒に「日本語・日本文化の再発見」をしてみませんか。

学生の声



米川 和樹 さん
よねかわ かずき
日本語教育コース 4年
高田高等学校出身

こんにちは!日本語教育コースでは、日本語を母語としない人への日本語教育を中心に学んでいます。地域の日本語教室にボランティア等に参加する学生も多く、私自身も大学2年次より津市内の日本語教室に参加させていただいており、外国人児童生徒や保護者の方と実際に接しています。実際に関わってみたいと分らない、日本語学習者の方や子どもたちの生活上・学習上のニーズを知ることができます。またこのコースには天津師範大学の留学生がたくさん在籍しており、交流する機会が多くあります。私自身、彼らとの日々の交流や中国語研修(2週間)参加を通し、異文化体験を毎日楽しんでいます。ことばや外国に関心にある人は、ぜひ日本語教育コースへ。

将来のフィールド

小中学校や国内外の日本語教育機関において、日本語教育の分野での活躍が期待されます。また、国際的な視野を生かし、企業への就職や公務員を目指す人もいます。

教員紹介

(平成25年度担当教員)

担当科目	職名	氏名	主な研究分野
● 国語教育			
国語教育学	特任教授	橋本博孝	文学教育・物語の授業・入門期の文字指導
国語教育学	准教授	守田庸一	小学校・中学校・高等学校の国語科における読むことの学習指導
国語学	特任教授	丹保健一	現代日本語文法・現代日本語彙・現代日本語表記
国語学	准教授	余健	日本語の音声・アクセント・敬語・方言
国文学	教授	松本昭彦	日本中古・中世文学
書道・日本語教育	准教授	林朝子	書道・書写教育、日本語教育、文字指導
日本語教育	講師	服部明子	日本語教育
日本語教育	特任講師	養川恵理子	日本語教師養成、日本語学および商品名に関する研究
● 社会科教育			
社会科教育	教授	山根栄次	公民科教育(経済教育)
社会科教育	教授	永田成文	地理歴史科教育(地理教育、異文化理解教育)
日本史	教授	藤田達生	日本近世国家成立史
外国史	准教授	大坪慶之	東洋史(中国近代史、清末の政治史・外交史)
地理学	教授	宮崎清	人文地理(都市の発展、都市づくり)
地理学	教授	宮岡邦任	自然地理(水文学、地下水学)、環境・防災教育
法律学	特任教授	手塚和男	日本国憲法、比較憲法、ドイツ憲法、基本的人権、障害者権利条約
政治学	准教授	馬原潤二	政治哲学、ドイツ政治思想史、ドイツ国民形成の精神史
経済学	准教授	内田秀昭	経済成長理論、マクロ経済動学
哲学	教授	秋元ひろと	西洋哲学、イギリス経験論
● 数学教育			
数学科教育	教授	中西正治	数学教育の方法論・学習論・教材論等に関する教育史の研究とその応用に関する実践的研究
数学科教育	准教授	田中伸明	戦前から戦後への数学教育の歴史的展開、数学教育の目的論・内容論・方法論に関する研究
代数学	教授	古閑春隆	整数や素数に結びつく関数、およびその背後にある無限次元の構造の研究
代数学	教授	露峰茂明	整数の性質や、あるいは図形の性質を教えてくれる保型関数の研究
幾何学	教授	新田貴士	微分多様体上の幾何学的構造のモジュライに関する研究
幾何学	准教授	森山貴之	様々な集合における幾何学的構造がどのくらい存在するかについての研究
解析学	教授	玉城政和	関数列の繰り返しで生じる、確率的な振る舞いをする現象の解析に関する研究
解析学	准教授	川向洋之	パンルヴェ方程式などの線形方程式の変形問題に付随する特殊関数の研究
解析学	准教授	肥田野久二男	波の現象を記述する微分方程式の数学解析、解の存在と一意性などの研究
統計学	特任教授	谷口礼偉	乱数の非再帰的な生成、統計力学的分野の確率論的研究
● 理科教育			
理科教育	教授	荻原彰	理科教育(環境教育)
理科教育	教授	平賀伸夫	理科教育(授業研究)
物理学	教授	牧原義一	物理学(物性物理学)
物理学	准教授	國仲寛人	物理学(統計物理学)
化学	教授	新居淳二	化学(固体化学)
生物学	教授	後藤太一郎	生物学(動物学)
生物学	准教授	平山大輔	生物学(植物学)
地学	教授	伊藤信成	地学(天文学)
地学	准教授	栗原行人	地学(古生物学)
● 音楽教育			
音楽科教育	教授	根津知佳子	音楽教育、芸術療法(音楽療法)
音楽科教育	准教授	川村有美	音楽科教育(教材論)
器楽	教授	兼重直文	ピアノ(古典派からロマン派を中心としたピアノ演奏法)
器楽	講師	小畑真梨子	ピアノ(西洋音楽作品を中心としたピアノ演奏法)
声乐	教授	弓場徹	声乐(テノール)、発声教育、YUBAメソッドとその理論
作曲・音楽理論	准教授	森川孝太郎	和声、対位法、管弦楽法、作曲
● 美術教育			
美術科教育	教授	山田康彦	美術・芸術教育の理論や思想、学校や地域社会の美術・芸術文化活動の研究
美術科教育	教授	上山浩	美術教育学・3DCG等の映像メディア表現の指導法
絵画	准教授	関俊一	油彩による具象絵画
彫刻	准教授	奥田真澄	塑造による人物表現・テラコッタの技法研究
デザイン	教授	岡田博明	グラフィックデザイン、および複合材料による描画装飾デザイン
美術理論・美術史	教授	山口泰弘	日本近世近代絵画史
● 保健体育			
保健体育科教育	教授	山本俊彦	保健体育科教育法
保健体育科教育	教授	岡野昇	保健体育教育法・野外運動・キャンプ
体育心理学	教授	米川直樹	体育測定評価・テニス
体育心理学	教授	鶴原清志	体育心理学・器械運動
体育社会学	講師	大隈節子	体育社会学・バレーボール
運動学	教授	八木規夫	運動方法学・バスケットボール

担当科目	職名	氏名	主な研究分野
運動学	教授	後藤洋子	体操・ダンス
生理学	教授	杉田正明	運動生理学・陸上競技
学校保健	教授	富樫健二	健康管理学・バドミントン
衛生学及び公衆衛生学	准教授	重松良祐	衛生学及び公衆衛生学・水泳
● 技術・ものづくり教育			
技術科教育	教授	魚住明生	幼児・初等教育でのものづくり教育と中等教育での技術教育における教材研究、並びに学習指導法
木材加工・金属加工	准教授	中西康雅	材料工学を基礎に、先端材料の機械特性に関する研究と技術教育における教材研究
機械	教授	松本金矢	機械工学を基礎にした、材料設計や計算力学の研究と技術教育における教材研究
電気	教授	松岡守	電気をベースにしたエネルギー・環境教育、ものづくり教育の延長としての知財教育
● 情報教育			
情報教育	教授	奥村晴彦	情報科学に基づいた情報教育、情報リテラシーの研究
情報処理	教授	丁亜希	教育におけるネットワーク環境整備
情報処理	准教授	萩原克幸	データから規則性・知識を発見するための統計的学習法の研究
情報システム	教授	山守一徳	理想の情報社会を目指し人に優しい情報システムを構築するための研究
● 家政教育			
家庭科教育	教授	吉本敏子	生活経営学の視点からの家庭科教育の研究、消費者教育に関する研究
家庭科教育	准教授	林未和子	日米の家庭科教育と大学・大学院における教員養成カリキュラムに関する研究
家庭経営学	教授	乗本秀樹	「設計する」「見守る」という2つの生活運営スタンスのとり方を研究
被服学	教授	増田智恵	着心地の良い衣服設計と教育のための3次元体型把握とデザインシステムの構築
食物学	准教授	磯部由香	発酵食品の微生物学的解析・様々な対象者への食教育研究
食物学	准教授	平島円	食品のおいしさにかかわる物理的要因解明のための多糖類の物性研究
住居学	特任教授	中島喜代子	まちづくり学習、子どもの居場所など地域や住まいに関わる研究
● 英語教育			
英語科教育	教授	早瀬光秋	英語教育(英語教授法・第二言語習得)
英語科教育	准教授	荒尾浩子	英語教育(比較文化・動機付け論)
英語学	教授	西村秀夫	英語学(英語史・コーパス言語学)
英米文学	教授	宮地信弘	英米文学(英詩・ゴシック小説)
英米文学	外国人教師	Anthony Piccolo	英米文学(英米現代小説・映画研究)
● 特別支援教育			
特別支援教育	教授	荒川哲郎	特別支援教育
特別支援教育	教授	姉崎弘	特別支援教育
障害児病理	教授	大谷正人	障害児病理・精神医学
障害児心理	准教授	菊池紀彦	障害児心理
障害児心理	准教授	郷右近歩	障害児心理・特別支援教育
● 幼児教育			
幼児教育学	教授	須永進	子育て支援論、幼児教育(保育)の相談援助・支援、子どもの人権保障と教育
幼児心理学	准教授	富田昌平	子どもの想像力とファンタジーの発達、遊びと保育、保育者養成と現職研修
保育内容	講師	吉田真理子	乳幼児期における社会性の発達と障害児の保育・療育
● 学校教育			
教育哲学	教授	伊藤敏子	教育哲学(教育内に横たわる思想の探究)
教育社会学	教授	蓮尾直美	教育社会学(教師・生徒関係の社会学)
教育経営学	准教授	織田泰幸	教育経営学(組織としての学校の経営)
教育方法学	教授	佐藤年明	教育方法学・教育課程論(各教師の学校づくりへの参加)
教育方法学	教授	森脇健夫	教育方法学・授業論(教育実践の質的研究)
教育方法学	准教授	大日方真史	教育方法学・生活指導論(学校における公共空間の形成)
社会心理学	教授	松浦均	社会心理学・教育心理学(対人関係・集団社会の心理学)
発達心理学	教授	南学	教育心理学・認知心理学(考えるプロセスとその教育)
学習心理学	准教授	中西良文	学習心理学(学びとやる気の心理学的解明)
臨床心理学	准教授	瀬戸美奈子	学校臨床心理学(子どものアセスメントと援助)
● 附属教育実践総合センター			
教育工学部門	教授	下村勉	ICT(情報通信技術)を活用した学習者参画型教育の推進
教育実践研究部門	教授	須曾野仁志	発信型学習のためのデジタルストーリーテリングとそれを取り入れた授業設計(インストラクショナルデザイン)
教育臨床研究部門	准教授	岡田珠江	子どもの心理的課題の解決や予防に関する臨床心理学的研究
● 教職支援室			
	特任講師	野呂博実	
	特任講師	東谷和久	
● 連携支援室			
	特任講師	金子滋朗	
	特任講師	寺下泰彦	

進路状況

就職 平成23年度卒業生データ

柔軟なサポートで学生を支援

近年、全国的に教員採用数が増えています。講師への需要も高く、卒業生も教育の現場での就職が可能で、教員免許が必修の学校教育養成課程の学生は6割以上が教員となっています。

教員以外では公務員や一般企業への内定が決まり、教育学部全体で見ると就職内定率は9割以上になります。

教育学部全体の就職率 **92.4%**
就職希望者に対する就職内定率

学校教育教員養成課程の学生の教員採用率 **66.0%**
[]内は大学院等進学者を母数から除いた率 [73.3%]

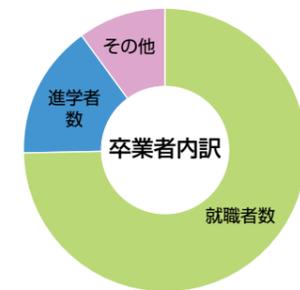
就職者の約7割が、
教員として採用 **69.0%**

過去の就職先一覧

- 三重県公立学校
- 愛知県公立学校
- 名古屋市公立学校
- 他府県公立学校
- 市町村幼稚園
- 私立学校
- 三重県
- 市町村保育園
- 三重県内市役所
- 県警
- 中部電力
- 百五銀行
- 三重銀行
- 三菱東京UFJ銀行
- 名古屋銀行
- 三重電子計算センター
- 三重信用金庫
- 国立大学法人三重大学
- 鈴鹿英数学院
- NTT西日本 他

平成23年度卒業生の就職状況

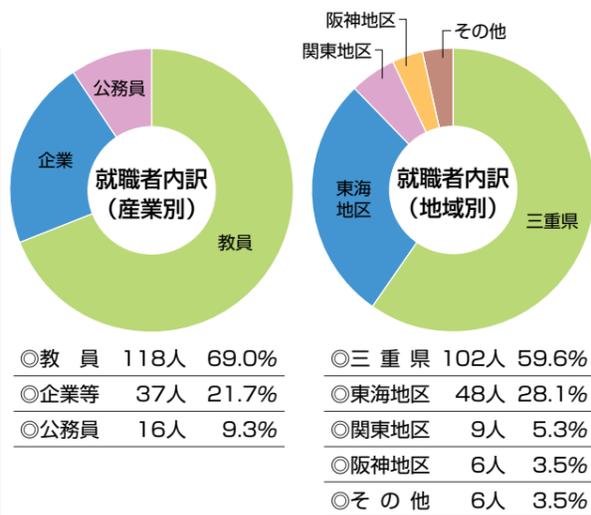
卒業生	229	
卒業生内訳	就職者数	171
	進学者数	35
	その他	23
	計	229



◎就職者数	171人	74.7%
◎進学者数	35人	15.3%
◎その他	23人	10.0%

平成23年度就職者の産業別就職状況

農・林・魚・鉱業	0
建設業	0
製造業	3
電気・ガス・水道業	0
情報通信業	9
運輸業	0
卸売・小売業	5
金融・保険業	4
不動産業	0
飲食店・宿泊業	0
医療・福祉(医師を除く)	0
教育・学習支援(教員を除く)	7
複合サービス業	2
サービス業	2
公務員	16
教員	118
医師	0
助産師・保健師・看護師	0
その他	5
計	171



進学 大学院で学ぶ

大学院教育学研究科

より専門的な知識を求めて Expert

学校教育における高度な能力の獲得を目的として設置され、学部卒業生だけでなく、多くの現職教員の方々が学んでいます。

理念・目的 Idea・Purpose

教育学研究科は、人間の発達および教育に関する高度な専門的研究を進めると共に、教育現場における諸課題の解決にリーダーシップを発揮できる人間性豊かな教員の養成のための高度な教育・研究を行うことを目的とします。

ポリシー Policy

●アドミッションポリシー

- ▶教育に強い関心を持ち、その専門的研究を進めていくための意欲と素養を有している。
- ▶将来、教育の分野において専門の職業人を目指している。
- ▶現場での経験を有する者については、現場での経験を基に、専門的な研究を進める意欲がある。

●ディプロマポリシー

- ▶児童・生徒の実態や教育諸問題の理解に必要な教育学および専攻する領域・分野の専門的知識を修得している。
- ▶専攻する領域・分野に関する教育課題について理論的・実践的研究能力を身につけている。
- ▶異文化・多世代の人との協同や、省察的実践の意義を理解することができる。
- ▶自律性をもった専門的職業人として、継続的に理論的・実践的研究に取り組むことができる。

大学院の構成(修士課程 1専攻5教育領域)

教育学専攻

- 学校教育領域
教育基礎、教育実践
- 特別支援教育領域
特別支援教育
- 人文・社会系教育領域
国語教育学、国語学、国文学、書道、社会科教育、歴史・思想学、地域科学、英語科教育、英語学、英米文学
- 理数・生活系教育領域
数学科教育、代数学、幾何学、解析学、応用数学、理科教育、物理学、化学、生物学、地学、技術科教育、技術学、家庭科教育、家政学
- 芸術・スポーツ系教育領域
音楽科教育、器楽、声楽、作曲・指揮法、音楽学、美術科教育、美術、保健体育科教育、体育・スポーツ学、運動学、学校保健

学位と取得免許

本研究科を修了すると修士(教育学)の学位が授与されます。また、教育職員免許法に定める所定の単位数を修得すれば取得単位に応じた専修免許状の取得資格が得られます。ただし取得には、対応する一種免許状をすでに有している必要があります。なお、未取得の教科の免許を追加したり、二種の免許を一種に変更することも一部可能です。

長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有する等の個人の事情に応じて、柔軟に標準修業年限(2年)を超えて履修し(最大4年間)、学位等を取得できるようにする制度です。本研究科では教育職員免許状取得のために長期履修制度を利用することもできます。この場合は既得の教育職員免許状が一切ない場合でも単位取得に応じて専修免許状まで取得することが可能です。

コース別の進路状況の例

過去3年間

コース	年度(卒業生)	内 訳
社会科教育コース	24年度(11名)	教諭3名(小学校2名・中学校1名)、講師3名、企業4名、その他1名
	23年度(12名)	教諭7名(小学校5名・中学校2名)、講師1名、大学院進学2名、企業2名
	22年度(13名)	教諭4名(小学校3名・中学校1名)、講師6名、大学院進学2名、企業1名
数学教育コース	24年度(18名)	教諭10名(小学校2名・中学校8名)、講師2名、大学院進学4名、公務員1名、企業1名
	23年度(17名)	教諭12名(小学校4名・中学校7名・高校1名)、講師3名、大学院進学2名
	22年度(13名)	教諭4名(中学校3名・私立学校1名)、講師3名、大学院進学3名、公務員1名、企業1名、その他1名
美術教育コース	24年度(9名)	教諭2名(小学校2名)、講師5名(小学校2名、中学校2名、高等学校1名)、企業1名、その他1名(専門学校進学1名)
	23年度(5名)	教諭1名(小学校1名)、大学院進学1名、企業(デザイン関係)2名
	22年度(11名)	教諭3名(小学校1名、中学校1名、高等学校1名)、講師2名(小学校1名、中学校1名)、企業(デザイン関係)1名、その他5名(専門学校等進学2名他)
保健体育コース	24年度(12名)	教諭4名(小学校4名)、講師6名
	23年度(12名)	教諭4名(小学校1名・中学校2名・私立高校1名)、講師2名、公務員1名、企業1名
	22年度(13名)	教諭4名(小学校2名・中学校2名)、講師3名、公務員3名、企業2名
英語教育コース	24年度(16名)	教諭7名(小学校4名・中学校2名・高校1名)、講師1名、大学院進学1名、企業4名、その他3名
	23年度(16名)	教諭7名(小学校5名・中学校1名・私立学校1名)、講師4名、大学院進学2名、企業1名、その他2名
	22年度(17名)	教諭5名(小学校2名・中学校1名・高校1名・私立学校1名)、講師8名、企業1名、留学2名、その他1名
特別支援教育コース	24年度(13名)	教諭9名(小学校5名・中学校1名・特別支援学校3名)、一般就職3名、その他1名
	23年度(13名)	教諭9名(小学校6名・特別支援学校3名)、保育士1名、施設職員(非常勤)1名、その他2名
	22年度(14名)	教諭5名(小学校2名・特別支援学校3名)、講師6名、一般就職1名、大学院進学1名、その他1名
学校教育コース	24年度(9名)	教諭4名(小学校4名)、講師1名、大学院進学1名、企業1名、その他1名
	23年度(12名)	教諭7名(小学校7名)、講師2名、大学院進学1名、その他2名
	22年度(11名)	教諭7名(小学校7名)、大学院進学1名、企業2名、その他1名
生涯教育課程 スポーツ健康科学コース	24年度(9名)	教諭3名(小学校3名)、大学院進学1名、公務員2名、団体職員1名、企業2名
	23年度(8名)	教諭2名(小学校2名)、大学院進学2名、公務員1名、企業1名
	22年度(9名)	教諭3名(小学校3名)、大学院進学1名、公務員3名、企業2名
人間発達科学課程 人間発達科学コース	24年度(10名)	大学院進学2名、企業6名、その他2名
	23年度(12名)	講師3名、大学院進学5名、企業2名、公務員1名、その他1名
	22年度(11名)	教諭1名(小学校1名)、保育士1名、大学院進学4名、企業3名、公務員1名、その他1名

※各コースの専門性等に基づき、本表の表記や内訳は厳密に統一されてはおりません。

Question & Answer

受験について

Q&A

Q. 出願時に、コース間での併願はできますか？

A. 基本的にはできます。しかし、コースによっては、条件があつたり受験科目が違つたりすることもあります。できないところもあるため、入試要項をよく読んで、出願してください。

Q. 三重大学教育学部について知ることができ るものは、学部案内のほか何がありますか？

A. 主に2つあります。直接話を聞いたり、見学ができれば、8月に行われる教育学部のオープンキャンパスです。全体で教育学部についての話を聞いた後、各コースに分かれて説明や模擬授業が行われるため、それぞれのコースについても詳しく知ることができます。また、三重大学や教育学部のホームページもあります。そこでは、入試情報をはじめ、教員紹介や附属学校園についても紹介されています。コースによっては、独自にホームページを立ち上げているところもあるので、検索してみてください。さらに、大学祭などの行事に参加した時には、学生や先生方に気軽に声をかけてみるのも一つです。

学生生活について

Q&A

Q. 他コースの人との交流や教員との関係は どうですか？

A. 教育学部では、グループで協力する授業や教育実習もあり、自分のコースを超えて様々な人との交流があり、とても仲良くなれます。また、教員に対する学生数も少ないので教員との関係もふかしく、より専門的な指導や相談などをすることができます。

Q. 大学生は自分用のPCは必要ですか？

A. 三重大学には、PCを利用できる場所がいくつかあります(図書館・情報処理センターなど)。学生は、入学後に発行されるIDを使って、そうしたPCを利用できる時間帯に自由に使用できます。しかし、レポート作成や発表の準備をする時などは自分用のPCがあつた方がいいですね。ただし、PCを指定される学科もあるので、急いで買う必要はありません。選ぶ基準としては、たとえば、デスクトップ型よりはノート型のコンパクトなPCの方が、講義や教育実習の際の持ち運びに便利です。また、生協でも学生向けにPCを販売しています。このように、自分の必要に応じたPCをじっくり選んで購入しましょう。

教育について

Q&A

Q. 教育学部ではどのような免許がとれますか？

A. 教員免許(幼、小、中、高、特別支援)と学芸員、図書館司書です。
教員免許の中で複数科目(国語と社会など)を取得することも可能ですが、たくさんの単位数が必要になりますし、教科によっては時間割や実習などの都合で物理的に取得が不可能な場合があります。

Q. 子どもと接する機会はどれくらいありますか？

A. 代表的なものとしては教育実習があります。そのほかにも、実践的な授業を受講することやボランティアに参加することなどによって1年生から卒業に至るまで多くの場面で子どもたちと接する機会があります。

Q. 教育学部で留学することはできますか？

A. もちろんです!英語科に限らず、誰でも留学することができます。教育学部が主催している海外教育研修のほか、協定を結んでいる学部間・大学間の交換留学があります。また、生協では留学プランを多数扱っています。留学は費用もかかりますし、期間についても1ヶ月程度の短期留学から半年・1年にわたる長期留学まで様々あるので、単位取得との兼ね合いを考えながら計画を立てることをお勧めします。

就職について

Q&A

Q. 教員採用試験対策はありますか？

A. あります。教職教養や面接練習、模試などがあり、充実しています。ただ、やはり三重県が中心なので他県希望の方は担当の先生に相談する必要があります。担当の先生はとても親切で相談も大変しやすいです。

OB・OGインタビュー



◎仕事の内容◎ 担任する学年の授業、生徒指導 など

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 大学祭で同じ教育学部コースの仲間とお店を出したことです。みんなで知恵を出し合い、力を合わせてお店を運営しました。途中、意見の食い違いで仲間とぶつかることもありました。それも今となっては懐かしく、いい思い出です。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 私の強みは、課題に対してのアプローチの仕方や解決への過程を身につけたことです。教育学部の研究室での研究を通して、自分が設定した課題に対してどのように捉え、どのようにアプローチしていくのか、その過程を身につけることができました。この力は、小学校にある様々な課題を解決していく際、とても役立っています。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 大学生活では、一生の財産となるたくさんの出会いがあります。これは、社会に出てからも自分の支えとなる貴重なものです。これから、大変で辛いこともたくさんありますが、何事にも前向きに、また笑顔で顔晴って(がんばって)ください。

三重県大台町立日進小学校 勤務 吉村 浩輔さん | 学校教育コース 2012年卒業

◎仕事の内容◎ 学級担任・生徒指導 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A. 高校生の時の担任の先生に勧められたこと、子どものころから学校がとても好きだったので、教員免許がとれるコースを選びました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 大学で所属していた合唱団で、全国大会に出場したり、いろいろなイベントなどで歌ったりしたことです。学生中心となって団の運営や曲づくりをしていたので苦勞もありましたが、たくさんの素敵な仲間に出会うことができました。

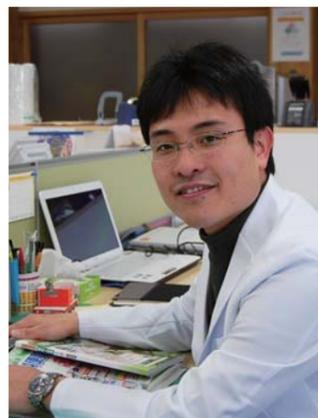
Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 教育実地研究や教育実習などで実際にさまざまな学年の子どものたちと接する機会がたくさんあったことは、今子どもたちと一緒に過ごすうえでいい経験になったと思います。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 大学時代のいろいろな経験や、そこで得た仲間は、今私にとっての支えであり宝物です。受験勉強は大変だと思いますが、目標をしっかりとって大学受験に臨んでください。応援しています！

大阪市立中川小学校 勤務 山本 麻衣さん | 国語教育コース 2010年卒業



◎仕事の内容◎ 担任する学年の授業、生徒指導、部活指導 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A. 私は将来、理科の先生になりたいと考えていました。様々な大学のオープンキャンパスに参加させていただきましたが、その中で三重大の理科教育コースが一番雰囲気良かったのでこのコースを選びました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 教育実習です。実際に教育現場を経験することができ、将来教員になりたいという気持ちを再確認することができました。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 理科の先生は、物理、化学、生物、地学の全ての分野の知識が必要になります。教育学部では、この全ての分野を学ぶことができ、身につけた理科の基礎知識が役に立っています。また、仲間と共に考えた教材研究は、現場に出た今でも役立っています。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 社会に出て人生の先輩方に触れる中で、経験が豊富な人は輝いているなという印象を受けました。そこで、大学生活では、自分の専門分野はもちろん、その他にも様々な経験を積むことをお勧めします。

亀山市立関中学校 勤務 大竹 亮宣さん | 理科教育コース 2012年卒業

◎仕事の内容◎ 体育の授業、学校運営、クラブ指導 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A. 大学選択時、得意というわけではありませんでしたが、体を動かすことが好きで、将来も体育に関わる職業に就きたいと考え、学校教育も選択肢に入れた学部、コースということでスポーツ健康科学コースを選択しました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. スポーツ健康科学コースの講義と実技です。講義は、運動の理論や、スポーツ科学、健康管理学など興味のある内容ばかりで、どれも印象深く現在でも学んだことを活かして生徒に伝えることができます。実技はほぼ全ての実技を履修し、今まで触れたことなかった種目もおこなうことができました。特に、バドミントンでは、大学まで未経験でしたが、その授業をきっかけに今でも趣味として行っているほど良いきっかけとなりました。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 教育学部では、学校教育法や臨床心理学など現場で即座に活用できる講義も多く、現場にたつてすぐに様々な生徒対応が求められるので、専門知識を活かすことができます。また、体育の専門の授業で学んだことは、即座に学校現場で活用でき、その学んだ知識の多さで生徒を授業へ引きつけることができるので、良いと思います。

津市立東観中学校 勤務 杉野 拓也さん | スポーツ健康科学コース 2006年卒業



◎仕事の内容◎ 機械系の専門教科の授業や実習、生徒会担当、サッカー部顧問 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A. 工業高校出身であり、将来は学校の先生になりたいという夢を持っていたので、工業高校で学んだことを活かせる技術教育コースを選びました。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 私なりに感じている強みは二つあります。一つ目は、講義や教育実習から授業の大切さや教育者としての心構えを身につけてもらえたことです。二つ目は、「専門的な知識や技能は持っているに当然であり、それ以外の部分で一人の人間としての幅や深さをいかにもつことができるか。魅力ある大人になれるか。」今、生徒の前に立って日々感じているこのことを研究室の先生方に教えてもらえたことです。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 志を持つ。覚悟を決める。今何をすべきかを考える。今できることを精一杯頑張る。できるまで続ける。自分を信じて、今しかない学生生活を楽しんで下さい。

四日市工業高校 勤務 稲濱 章誠さん | 技術教育コースコース 2003年卒業 (教育学研究科 2005年修了)

◎仕事の内容◎ 日系の子どもたちやパラグアイ人の大人を対象に次の4つの柱を軸に活動、①児童・生徒の日本語力向上 ②日本文化を伝える活動 ③教師の指導力向上 ④学校運営支援 及び 学校行事の企画や遂行 など

Q. 所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A. 中学生時代からJICAのボランティアとして海外で日本語を教え、そのすべての経験を生かして日本の子どもたちに世界を伝えることが夢でした。教員としての勉強と日本語教育の勉強を両方できるこのコースに魅力を感じ、選びました。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 学校教育と日本語教育の両面から勉強できたことが本当に今の活動に生かされています。また、教育者として人に携わる仕事だからこそ、専門分野だけでなく様々な分野を幅広く学べたことや、教育実習や実地研究、その他海外研修等の機会に参加させていただき、学生時代から様々な分野の現場に触れ、体験させていただけたことが本当に私の財産となっています。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 大学生時代は、人生において、人としていろんなことにチャレンジする機会と時間がある貴重な時だと思います。だからこそ、勉強だけでなく、自分で限界を作らずにいろいろなことに挑戦して、様々な経験をして欲しいと思います。たくさんの人との出会いの中で築き上げた人間関係、思い出は一生の宝物であり、私の財産になっています。受験勉強は辛いと思いますが、諦めずに頑張ってください。心から応援しています。

JICA日系社会青年ボランティア 日系日本語学校教師 パラグアイ エステ日本語学校派遣 森本 真央さん | 日本語教育コース 2011年卒業



◎仕事の内容◎ アートライター

主にアーティストや美術館などを取材し、アートシーンの現在を書き・雑誌を通して発信

Q. 所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A. 幼い頃から美術が好きで、大学では好きなことを専門的に学び、それを将来の仕事につなげたいと考えていたためです。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 水泳部に所属し、大会での上位入賞、自己ベスト更新を目指し仲間と切磋琢磨したこと。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 私自身は教員という道を歩んでいませんが、幅広い美術実技の授業や美術の知識を深める専門的な授業から得た知識が、一般企業での業務にも役立っています。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 教育学部には私たちの将来を共に考え、しっかりと支えてくださる多くの先生方がいます。安心して教育学部の門を叩いてください。充実した大学生活を送ることが出来るでしょう。

株式会社麗人社 制作事業部 勤務 大川 甲さん | 美術教育コース 2010年卒業

◎仕事の内容◎ JR東海のICカード「TOICA」システムの保全業務

Q. 所属したコースを選んだ理由を教えてください。

A. 情報教育課程の、情報系の専門知識を学ぶ授業はもちろん、教学分野をはじめとした教育学部で提供されている様々な分野の授業から、自分の希望する進路に合せて、受講科目を選択できるというところに魅力を感じました。

Q. 大学での一番の思い出は何ですか？

A. 部活動で全国大会に出場したことです。4年間、野球部のマネージャーを務め、全国大会では、大学名のプラカードを持って行進しました。

Q. 社会に出た今、教育学部で学んだ専門知識の強みは何ですか？

A. 現在の仕事に求められるのは、顧客の要望を正確に把握する力と、引き出した要望をシステムで実現するための技術力です。教育学部で学んだ情報技術の専門知識と様々な分野の人と交流することで養ったコミュニケーション能力は、大きな強みになっています。

Q. 高校生へのエールを一言お願いします。

A. 大学時代に経験した様々な出来事や出会いは、現在の自分の礎となっています。ぜひ、様々なことに興味関心をもって、たくさんの経験をしてください。情報教育課程で過ごす日々は、きっと楽しく充実したものになると思います。

ジェイアール東海情報システム株式会社 勤務 浅野 由起子さん | 情報教育コース 2009年卒業



OPEN CAMPUS 2013

平成25年度 三重大学教育学部オープンキャンパス

受験生の皆さん、三重大学教育学部は、主に小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・幼稚園の教諭を目指す方のための大学であり、教科・教職に関する高い専門的知識と技能、そしてこれを基盤とした実践力を身につけるための教育環境を提供しています。オープンキャンパスで本学部の雰囲気を確かめてみませんか。皆さんの未来を描くキャンパスがきっと見つかります。

8/8木
開催!!

行ってみよう!!
体験しよう!!

- 主な内容(予定) ◎学部概要説明 ◎学生による学部紹介
◎コース紹介 ◎体験授業 ◎質問相談 ◎ビデオ上演 など



入試情報

平成25年度入学状況

(単位:人)

課程	学校教育教員養成課程																			
	国語教育		社会科教育		数学教育		理科教育		音楽教育		美術教育		保健体育		技術教育		家政教育		英語教育	
コース	前期	後期	前期	後期	前期	後期	推薦	前期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	推薦	前期	前期	後期	前期	後期
募集人数	13	—	8	3	11	5	3	13	5	3	8	—	7	4	2	6	8	—	15	—
志願者数	59	—	38	35	63	117	15	55	12	22	24	—	28	50	8	31	53	—	42	—
受験者数	58	—	38	13	63	54	9	52	11	11	23	—	26	27	8	30	51	—	39	—
合格者数	14	—	9	4	12	6	3	14	6	3	9	—	8	5	2	7	9	—	16	—
倍率	4.1	—	4.2	3.3	5.3	9.0	3	3.7	1.8	3.7	2.6	—	3.3	5.4	4	4.3	5.7	—	2.4	—
入学者数	13	—	9	4	12	6	3	13	6	3	9	—	7	5	2	7	7	—	16	—

課程	学校教育教員養成課程						情報教育課程	生涯教育課程				人間発達科学課程				教育学部合計				
	特別支援教育		幼児教育		学校教育			スポーツ健康科学		消費生活科学		人間発達科学		日本語教育		推薦	前期	後期	合計	
コース	前期	後期	前期	後期	推薦	前期	前期	後期	前期	後期	推薦	前期	推薦	前期	推薦	前期	後期	合計		
募集人数	8	4	10	—	2	7	12	8	5	3	2	5	3	7	3	7	15	155	30	200
志願者数	48	104	59	—	18	44	34	63	17	20	11	23	20	39	5	20	77	689	411	1,177
受験者数	46	55	57	—	18	43	30	32	16	11	11	21	20	39	5	19	71	662	203	936
合格者数	9	6	11	—	3	7	14	9	6	3	2	7	3	8	3	7	16	173	36	225
倍率	5.1	9.2	5.2	—	6	6.1	2.1	3.6	2.7	3.7	5.5	3.0	6.7	4.9	1.7	2.7	4.4	3.8	5.6	4.2
入学者数	6	6	11	—	3	7	13	7	6	3	2	6	3	8	3	7	16	163	34	213

注) 1.各コースの志願者数、受験者数は第1志望の集計です。2.倍率=受験者数÷合格者数

平成26年度入学定員

(単位:人)

課程	学校教育教員養成課程																			
	国語教育		社会科教育		数学教育		理科教育		音楽教育		美術教育		保健体育		技術・ものづくり教育		家政教育		英語教育	
コース	前期	後期	前期	後期	前期	後期	推薦	前期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	推薦	前期	前期	後期	前期	後期
募集人数	13	—	8	3	11	5	3	13	5	3	8	—	7	4	2	6	8	—	15	—

課程	学校教育教員養成課程						情報教育課程	生涯教育課程				人間発達科学課程				教育学部合計				
	特別支援教育		幼児教育		学校教育			スポーツ健康科学		消費生活科学		人間発達科学		日本語教育		推薦	前期	後期	合計	
コース	前期	後期	前期	後期	推薦	前期	前期	後期	前期	後期	推薦	前期	推薦	前期	推薦	前期	後期	合計		
募集人数	8	4	10	—	2	7	12	8	5	3	2	5	3	7	—	10	12	158	30	200

注) 募集人数については変更する場合があります。

お問い合わせ先
TEL 059-231-9063/FAX 059-231-5382

三重大学オープンキャンパス2013 検索 <http://www.mie-u.ac.jp/exam/> click!

アクセス&キャンパスマップ ACCESS & CAMPUS MAP



1 インフォメーションセンター
施設やイベントの案内、情報誌やキャンパスマップなどの配布を行っています。

教育学部



2 共通教育校舎
全学部向けの共通教育が行われています。



3 図書館
90万冊に上る図書・雑誌を所蔵。オンラインジャーナルも充実し、学生の教育・研究活動を応援します。



4 三翠ホール(講堂)
1650名を収容でき、入学式や学位授与式など全学的な式典・行事、全国的な学会や講演会が開催できる多目的ホールです。

三重大学周辺MAP



交通案内

徒歩

近鉄江戸橋駅から徒歩で15分

バス・タクシー

津駅前バスのりば「4番」から三交バス「白塚駅前」「棕本」「豊里ネオポリス」「三重病院」「太陽の街」行きで「大学前」下車。津駅からタクシーで約10分

電車

近鉄急行

名古屋 — 江戸橋 約 60分

近鉄特急

名古屋 — 津 約 50分

難波 — 津 約 90分

京都 — 津 約 120分

(津駅で急行または普通に乗り換え)

津 — 江戸橋 約 2分



その他

中部国際空港(セントレア) — 津なぎさまち高速船 40分

なぎさまちよりタクシーで約10分または三交バス「津駅」行きで「津駅」乗り換え「大学前」下車。

■表紙のタイトル/出会う
■コンセプト/三重大学教育学部は多様な個性を持つ学生や子どもと出会う場所です。このイラストは、“人と出会うことで自分の世界が彩られていく”というコンセプトで描きました。

(美術教育コース4年生)



<http://www.edu.mie-u.ac.jp/>

OPEN 平成25年度
CAMPUS オープンキャンパス
2013 8/8 木

 MIE UNIVERSITY

三重大学 教育学部

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL. 059-232-1211 (代)

<http://www.edu.mie-u.ac.jp/>